

建設産業人材確保・育成推進協議会

建設産業人材確保・育成推進協議会（略称：人材協）は、行政機関と多くの建設産業団体により組織され、建設産業における若者の担い手確保・育成・定着を推進する活動を行っています。

いのちを守り 未来をつくる建設産業

＼ 若年担い手の確保に向けた取組や建設産業の魅力を発信！ ／
以下コンテンツをご活用ください！

Twitter

#建設産業人材協

人材協の取組や
建設産業の魅力を発信！



公式サイト

#建設現場へGO！

建設産業の
jobポータルサイト



YouTube

#人材協チャンネル

担い手確保・育成に関する
様々な動画を発信！



事務局：（一財）建設業振興基金

人材協のコンテンツ ～WEBやSNSによる広報展開～

人材協では、若年担い手の確保に向けた取組や建設産業の魅力を様々なコンテンツで発信しています！！

建設現場へGo！ (<https://genba-go.jp/>)



建設業団体等が広報している若年入職促進等に資する様々なコンテンツを集約したJobポータルサイト

18歳のハローワーク (<https://genba-go.jp/18hellow/>)



建設業を身近に感じてもらうとともに、就職に向けた手がかりとなる情報を発信、様々な職種紹介や技術者・技能者のインタビューを掲載

人材協Twitter (https://twitter.com/kikin_jinzaikyo)

人材協チャンネル (https://www.youtube.com/channel/UCM5_H7Htj4SrvvHF-7fE1Q)



人材協の活動や担い手確保・育成に関する情報をよりタイムリーに発信するためにSNS展開を開始

建設産業女性定着WEB

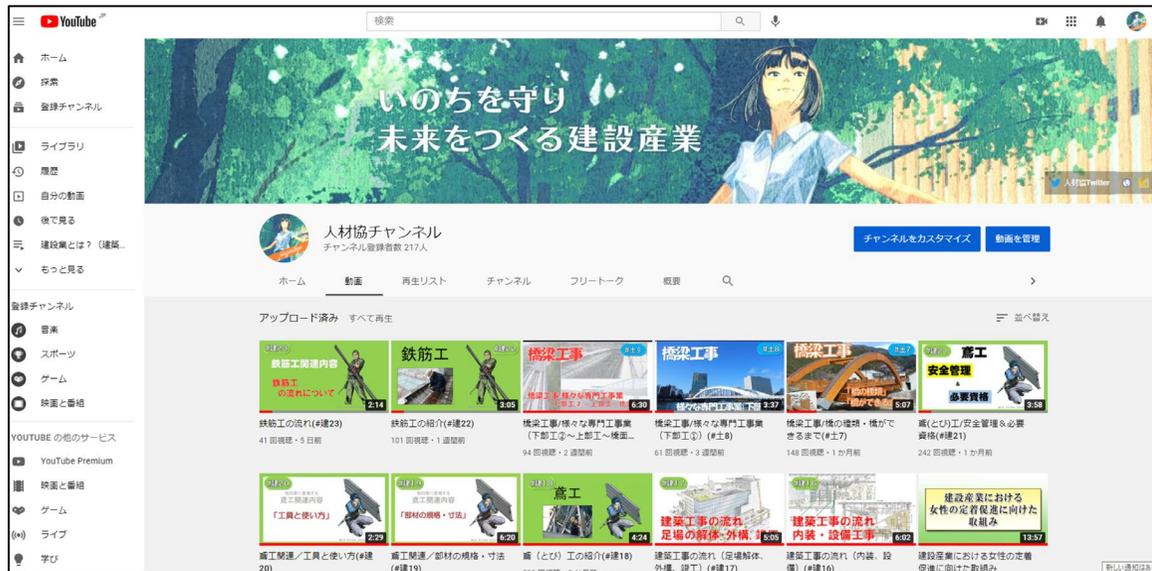
(<https://www.kensetsu-kikin.jp/woman/>)



建設産業女性定着支援ネットワーク登録団体の取組等、建設産業の女性定着に関する情報を網羅的に掲載。

ぜひ、学生にも広めていただき、御覧ください！！

人材協チャンネル(YouTube)の開設



○人材協が持っている担い手確保・育成に関する動画コンテンツを公開するため、独自チャンネルを開設しています。

○**建設産業に関する基礎知識等を見やすくコンパクトな動画**で適宜配信しています。

【1月以降の配信動画】

- ・建設現場の安全管理(#土木工事編 第5章)
- ・【北千葉道路】(道路が出来るまで～通り初め区間～)(出典:関東地方整備局)
- ・【利根川上流河川事務所】「釈水水門新設～ゲート設置～」(出典:関東地方整備局)
- ・首都圏を支える人になる(出典:関東地方整備局)
- ・成長できるフィールドがある 国土交通省 関東地方整備局の現場(出典:関東地方整備局)

各地域の取組み等を配信している「建設現場へGO！」

建設現場へGO!

いのちを守り 未来をつくる建設産業

建設現場へGO! 検索

建設現場へGO! カテゴリ 地域 専門業種 対象 目的

カテゴリ

- 見る
- 知る
- 働く
- 就職ナビ
- 建設業界のしくみ
- 地元建設産業の役割

地域

- 東京都
- 北海道
- 神奈川県
- 千葉県
- 大阪府
- 愛知県
- 奈良県
- 福岡県

専門業種

- 土木工事業
- 電気工事業
- 建築工事業
- 鉄筋工事業
- 左官工事業
- 造園工事業
- 大工工事業
- 塗装工事業

対象

- 小学生以下
- 中学生
- 高校生
- 保護者
- 大学生・大学院生
- 教諭・指導者・教育機関

目的

- 女性の定着
- 先職のシゴト場
- 見学・イベント情報
- 就職ナビ

お知らせ

- 2020.06.01 建設業界における女性の定着促進に向けた計画が決定！ New
- 2020.06.01 令和2年度作文コンクールの応募書式ダウンロードサイトのご案内 New
- 2020.06.01 「高校生の作文コンクール」過去の受賞作品 New
- 2020.06.01 作文コンクール「私たちの主張」過去の受賞作品 New
- 2020.04.15 「高野建設業協会CM」動画のご紹介

イベント情報

- イベント かながわ建設フェスタ in 日本大通り 4月30日 @ 8:00 AM - 5月2日 @ 5:00 PM
- セミナー 第6回 日本建築士上学会 女性ネットワークの会 講演会 5月6日 @ 8:00 AM - 5月7日 @ 5:00 PM
- 人材協 【福岡】 職員免許状更新講習 専修課程 5月6日 @ 8:00 AM - 5月7日 @ 5:00 PM
- 企画発表 ひろしま建設フェア2019 5月1日 @ 8:00 AM - 5月21日 @ 5:00 PM
- 本場ライブ 千葉佐野建設フェア 5月20日 @ 8:00 AM - 5月21日 @ 5:00 PM

○建設業団体等が広報している若年入職促進等に関する**様々なコンテンツ**を集約したJobポータルサイトです。

○このポータルサイトでは各県の建設業団体で作成している**教材やイベント情報、地域で建設業が取り組んでいる内容等**も掲載しており、多くの**建設業に関する情報**が盛り込まれています。

○人材協の取組についても、掲載しています。

建設産業の仕組みを紹介する「18歳のハローワーク」

建設業で働くための
18歳のハローワーク

18歳からわかる!
建設業の仕組み

専門工事の仕事

建設業は、建築と土木の2つに大きく分かれる

「建築」と「土木」、世間ではあまり区別されていませんが、仕事の内容には大きな違いがあります

「専門工事」の仕事一人前っていつ?

建設業では、特化した技能が必要になる複数の専門工事があります。

みんなでつくる！建設現場のチームワーク

建設業は、専門技術をもったさまざまな職人がチームワークによって工事工程を進めています。

こんなに広い建設業

専門工事ってなに?

建設業のチームワーク

○建設業への関心を持った工業高校在校生等を対象に、**建設産業の仕組みに関する情報を提供**しているホームページです。

○このホームページでは、ビルやトンネル、橋等の建設物をつくるにあたり、どのような業種が関わって作られているのかも分かり、**建設産業について、理解を深めることができます。**

○また、技術者や職人のインタビュー内容もあり、**入職後のイメージがしやすい**ホームページとなっています。

知っている？
建設業は、建築と土木の2つに大きく分かれる

建設業は大きく分けると「土木」と「建築」に区分され、仕事の内容には大きな違いがあります。土木工事は、道路やトンネル、河川や橋、水道などのインフラ整備（社会資本整備）があり、私たちが生活するために必要な生活基盤を整備する工事です。その多くは、公共工事として発注されています。

一方、建築工事は、住宅・学校・病院などの建物を建築する工事になります。

また、建設業は、工事内容や施工方法の違いから29業種に区分されており、そのうち土木一式工事と建築一式工事の二つは「総合的な企画・指導・調整のもとに土木または建築工物を建設する工事」と定義されています。土木一式工事または建築一式工事を請け負うものを総合建設業者（ゼネコン）と呼びます。その他の27業種については、大工工事や鉄筋工事などの専門的な工事を請け負う専門工事業者に分類されます。



「建築」の仕事

オフィスビル、商業施設、複合開発に至るまで、街づくりで未来を築く業種

> 建築一式工事の仕事



「建設現場へGO！」掲載情報募集中

建設産業人材確保・育成推進協議会（人材協）

建設現場へGO！は人材協が運営する建設産業のJOBポータルサイトで、建設産業の担い手確保・育成に関するイベントの情報や団体・企業様の広報コンテンツの紹介等を行っています。本WEBサイトへの情報掲載について以下の募集フォームにて受け付けておりますので、ぜひご活用ください！

■ 建設現場へGO！ TOPページ



■ 建設産業に関する情報掲載



■ 情報掲載依頼募集フォーム



TOPページ
下方に設置

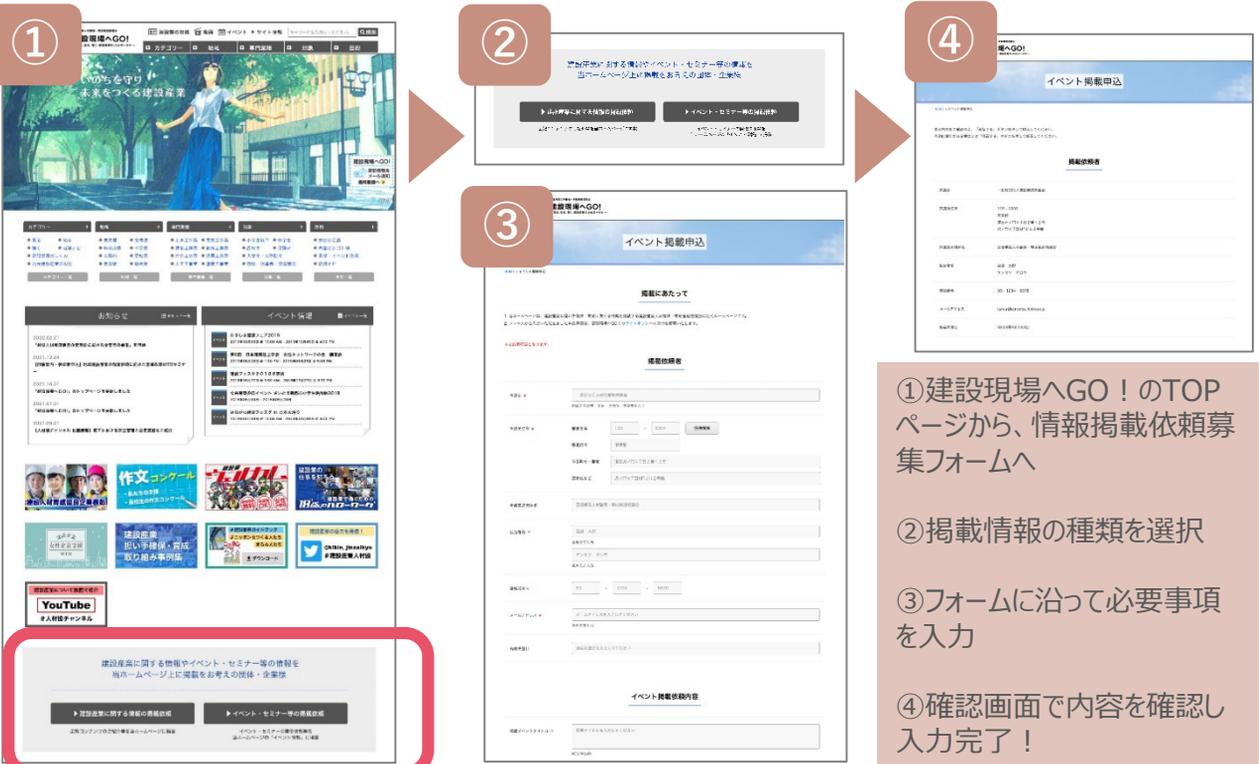
一般企業等からも
受付が可能！



建設現場へGO！

Check！

掲載依頼の流れ





建設産業における女性の就業継続にむけた キャリアパス・ロールモデル集

令和4年3月 第2版

本事例集は、令和2年1月16日に国土交通省と業界団体等が共同で策定した「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画 ～働きつづけられる建設産業を目指して～ Plan for Diverse Construction Industry where no one is left behind」を受けて制作したものです。

建設産業における

女性の就業継続にむけた

キャリアパス・ロールモデル集



はじめに

建設産業では、誰もが就業しやすい産業となることを目指し、職場や建設現場の環境改善に向けて取り組みを進めています。

令和2年1月16日には、建設業5団体^{※1}、建設産業女性活躍推進ネットワーク^{※2}及び国土交通省により「女性の定着促進に向けた建設産業行動計画 ～働きつづけられる建設産業を目指して～Plan for Diverse Construction Industry where no one is left behind」（以下、行動計画）が官民をあげて策定され、建設産業における女性の活躍・定着に向けた機運は高まりつつあります。

本行動計画では、「働きつづけられるための環境整備を進める」、「女性に選ばれる建設産業を目指す」、「建設産業で働く女性を応援する取組を全国に根付かせる」の3本の柱で構成され、建設産業で働くすべての女性が「働きがい」と「働きやすさ」を実感できる産業を目指し、柱の趣旨を達成するための目標を掲げています。

本事例集は、行動計画の趣旨に基づき、将来、建設産業に入職を考えている方や、周囲に相談相手がおらず就業の継続に悩む方が、自身の今後の働き方やキャリアアップの道筋をイメージでき、将来への不安や悩みを解消するためのヒントを見つけられるような事例集を目指し、制作いたしました。9名のロールモデルがこれまでどのような経験を積んできたのかをキャリアパスとして示すほか、仕事とプライベートの両立方法についても掲載しております。

本事例集が全国各地で孤軍奮闘される皆さまに届き、現在抱えている将来への不安や悩みが解消されるきっかけとなり、誰もが生き生きと自分らしく働き続けられる産業になるための一助となることを願います。

※1 建設業5団体：（一社）日本建設業連合会、（一社）全国建設業協会、（一社）全国中小建設業協会、（一社）建設産業専門団体連合会、（一社）全国建設産業団体連合会の5団体を指す。

※2 建設産業女性活躍推進ネットワーク：現在の建設産業女性定着支援ネットワーク。各地において女性活躍や定着に取り組む団体で構成されるネットワーク。



目次

技能者

技術者

事務職

様々な職種の方にこれまでのご経験を伺いました

CASE
01

大工

ししど ゆかり
穴戸 由香里 氏
サトウ工務店

「できることが増えるのが楽しい」
家族や親方に支えられ、知識や技能が豊富な
大工を目指す

… 4

CASE
02

土木

あびこりほ
安孫子 里穂 氏
株式会社新井組
(東京支店)

「現場代理人として活躍したい!」
資格があれば男女関係なく認められる業界

… 6

CASE
03

防水

くわはら なおこ
桑原 菜緒子 氏
桑原建材株式会社

「現場で大切なのは、自分を知ってもらい
相手を知ること」
現場代理人として家業を支える

… 8

CASE
04

土木

しまだ くみこ
島田 久美子 氏
ケミカルブラウト株式会社

「現場の楽しさは、様々な職種や年代の
方とのコミュニケーション」
数々の現場を経験し、登録基幹技能者にも認定

… 10

CASE
05

建築
(設計)

ねもと
根本 かおり 氏
有限会社ゼムケンサービス

「もう一度、設計の仕事に就きたい!」
子育てとの両立を図り、建築のオールラウンダーに

… 12

CASE
06

土木

はぎわら しのぶ
萩原 忍 氏
桂建設株式会社

「地元で現場監督になりたい!」
結婚や出産を経ても現場で活躍!

… 14

CASE
07

防水

はりかわ ゆうこ
針川 優子 氏
株式会社マサル

「今後、女性の活躍の場はさらに広がって
いくはず」
社内の職場環境も年々変化!
柔軟な働き方で育児と両立

… 16

CASE
08

溶接
(設計)

かいりさ
甲斐 理沙 氏
日鉄テックスエンジニアリング株式会社
(大分支店)

「周囲のサポートがあってこそ育児と
仕事の両立ができる」
職場は子育て世代の社員が多く、育児との両立を
助け合う社内風土

… 18

CASE
09

造園

すぎさわ ゆきこ
杉澤 悠紀子 氏
株式会社多々良造園

「地元で植物と関われる仕事がしたい」
夫が育児休暇を取得!
夫や職場のサポートで就業継続

… 20

CASE
01

「できることが増えるのが楽しい」 家族や親方に支えられ、知識や技能が豊富な大工を目指す

Check!

POINT

- 親方との出会いを機に地元から引っ越し、業界未経験から大工に転身。
- シングルマザーとして仕事と家庭の両立に奮闘。

サトウ工務店
技能者（大工）
穴戸 由香里氏



PROFILE

自身のプロフィール概要

- ①職種：技能者（大工）
- ②出身地：福島県
- ③学歴：高卒
- ④職歴：8年
- ⑤経歴：高校卒業後、地元で飲食業や接客業を経験し、派遣社員として工場等で勤務後、現職。

所属企業の会社概要

- ・会社名——サトウ工務店
- ・事業概要——マンションやアパート、民家、教会等の特殊建築物の修繕や新築工事
- ・所在地——埼玉県所沢市
- ・従業員数——2人（うち女性1人）

入職した理由、経緯

親方に誘われたことが入社きっかけです。福島県から埼玉県へ引っ越しした当時、子育てのため就業時間や条件が限定されるなかで就職活動をしていましたが、上手くいかずに悩んでいました。そういった中、以前から知り合いだった親方から、当社に所属していた職人が独立するタイミングと重なったこともあり「うちで仕事を手伝ってみるか？」とお誘いいただきました。業界未経験で不安もありましたが、親方の育児等に関する理解や自身がやってみたいという気持ちから、当社に入り、今も日々勉強しながら精進しています。

自身の現在の仕事内容、やりがい

入社したての頃は、自社で扱っているハウスクリーニングから始め、その後、親方に同行して現場での作業を経験しました。現在は、一人で現場に向かうこともあり、マンションやアパートのリフォーム、新築工事に携わっています。大工の仕事は建築物や現場によって工法が異なり、柔軟な対応をするには豊富な知識や経験が不可欠です。加えて当社では、幅広い種類の建築に携わるため、より多くのことを覚えなければいけません。そのため、現場においてできることや分かることが増えたときに仕事の楽しさややりがいを感じます。また、携わった現場に修繕作業で再び行く機会もあるのですが、綺麗に使ってくれていると嬉しく思います。

これまでのキャリアパス

WORK

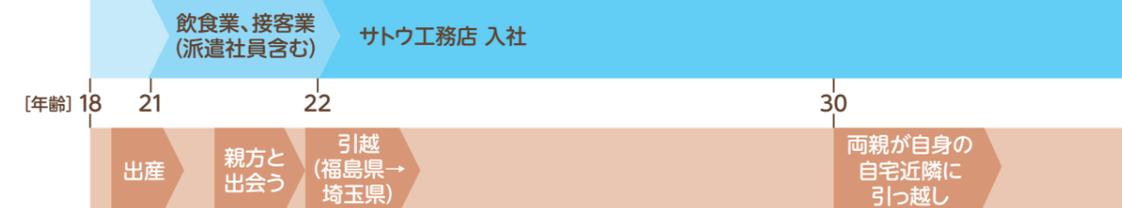
地元・福島県でシングルマザーとして子育てをしながら働く。

転職に悩んでいたところ親方に誘われ、入社。

業界未経験であったため、最初は自社で行っている清掃関連業務を中心に従事する。

親方等と一緒に現場で働きながら技能を学ぶ。

一人で現場に入場することもあり、現場の作業や調整等も行っている。



PRIVATE

◎保育園について

- 入園手続き
入園の条件を満たしていたためすぐに入園することができた。
- 延長保育の利用
遠方の現場が多いため、延長保育を利用し、7時から20時まで預かってもらっていた。

◎リフレッシュ方法

親方と相談や調整をしながら、お盆や繁忙期でない時期などに長期休みをもらい、子どもと旅行に出かけたり、実家に帰るなどしてリフレッシュしている。

◎育児と仕事の両立

- 家族の協力
姉や両親が自宅の近くに引っ越ししてくれた。帰りが遅くなる時などは、子どもの世話をしてくれた。
- 職場の相談体制
親方も子育て経験があるため、理解が得られやすく、運動会等の行事がある際は早く送り出してくれた。

Q&A

Q 苦勞したこと

A はじめは、道具の名前や単位などの建築に関する知識がないため、親方の指示内容を理解するのに苦勞した。現場で学びたいことや教わりたいことがたくさんあるが、教わりながら経験を積むと想像以上に時間を要する。納期を考慮すると、経験を積みながら新しい技能を学ぶ場は限られる。

Q 大工のイメージ

A 世間が抱いている「大工」のイメージと実情は異なる。作業着もおしゃれになっていたり、緻密な計算を行うことが多く、想像以上に頭を使う仕事だと思う。

Q 家族の協力体制

A 家族の協力体制は不可欠だと感じる。姉が近くにおり、とても助けられた。福島にいた両親も近くに引っ越してきたことや子どもも中学生になることから仕事に集中できる環境が整った。

Q 現場の環境整備

A 現場の規模の関係上、設置するスペースがなく、お手洗いがいない場合も多い。設置されていても男女共用で汚れており、使いたいとは思えないこともある。トイレトーパーや手洗い用石鹸、芳香剤等を自主的に用意し、清掃を行った現場もある。

Q 職場の子育てに対する理解

A 都内等の遠方の現場では、延長保育を利用しても入り時間に間に合わないことが多く、親方が現場と入り時間を調整してくれた。

Q 今後の目標

A 現場では「段取り」がとても重要であるため、親方から知識や技能とともに段取りも学んでいきたい。また、ゆくゆくは独立を考えているため、経営に関する勉強やSNSを活用して人脈も広げていきたい。

Message!



建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

建築に興味がある方は、一度チャレンジしてみてください。想像以上に大変なこともあるかとは思いますが、どんどん楽しくなると思いますよ。女性も男性も関係なく平等に働ける建築業界を、一緒に作っていきましょう。現場で見かけたら、是非話しかけてくださいね！笑

CASE
02

「現場代理人として活躍したい!」

資格があれば男女関係なく認められる業界

Check!

POINT

- 異業種から地元の復興に携われる土木の世界へ。
- 資格取得で更なるキャリアアップを目指す。

技術者 (土木)
株式会社新井組 (東京支店)
安孫子 里穂氏



PROFILE

自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者 (土木)
- ②出身地：山形県
- ③学歴：大卒
- ④職歴：3年
- ⑤経歴：林業、異業界の営業職を経て現在の会社に就職

所属企業の会社概要

- ・会社名：株式会社新井組
- ・事業概要：総合建設業
- ・所在地：兵庫県西宮市
- ・従業員数：328人 (うち女性40人)



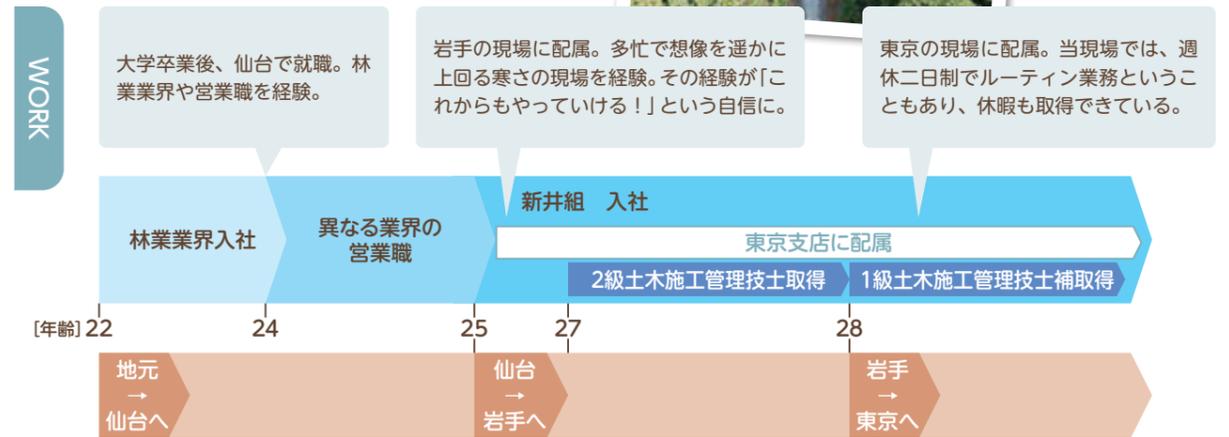
入職した理由、前職の経験等

大学卒業後は仙台にある森林組合に入社し、その後、人と話すことが好きだったため異業界の営業職に転職しました。どちらの仕事も楽しかったのですが、ものづくりやインフラ整備に携わってみたいという思いが強くなり、転職を決意しました。リクルートサイトを調べていくうちに当社と出会い、インフラ整備だけでなく東日本大震災の復興事業にも携われることに魅力を感じ、入社しました。

自身の現在の仕事内容、やりがい

入社当初は、東北復興事業に携わっており、冬の寒さが厳しいだけでなく休みもなかなか取れない状況でしたが、地元である東北の復興事業に携われるというやりがいを持って業務に従事できました。現在は東京の現場に配属され、東京外環自動車道の土砂運搬工事で施工管理を行っています。前の業務と異なり、ルーティン業務が多いため、時間のコントロールがしやすく動きやすいと感じます。そのため、現場の状況を見て資格取得に向けた勉強時間を確保し、取得することができています。「将来は、現場代理人として働きたい」という思いがあるため、会社の資格取得支援制度を活用しながら積極的に資格取得に取組み、ステップアップしていきたいです。

これまでのキャリアパス



Q&A

Q 現場の環境整備

A 地域や現場の規模によって違いはあると思うが、環境整備は進んでいると感じる。特に、関東地方の現場は週休二日制の導入など、働き方改革が進んでいると実感。一方で、更衣室はなかなか設置されていないのが現状。男女共用トイレが設置されている現場には、ポスターを掲示する等、きれいに使ってもらえるよう周知している。

Q 働くうえで男女差を感じる点

A 男女差を感じたことはない。チームの一員として性別関係なくコミュニケーションをとれていると思う。また、建設業界は資格があれば男女関係なく認められ働ける業界だと考えている。

Q 自社の異動や配属等について

A 現場が終わったタイミングや2年~3年で配属の現場が変わることがあり、工事の受注状況の影響(人数が必要等)によって変わることもある。

Q 現場の女性就業者について

A 岩手の現場では、協力会社の職長で女性が1人いたが、東京の現場では自分のみであった。当社の女性土木技術者は東京支店2人、本社4人在籍している。

Q 会社の取組み

- 手 当：実家への帰省時の交通費補助は、これまで既婚者のみが対象であったが、独身者でも月1回の交通費補助が受けられることになったため、地元に戻りやすくなった。
- 相談体制：風通しが良く話がしやすい環境。ある程度は配属先の希望も考慮してくれている。

Q 今後の目標

A 1級土木施工管理技士を取得したい。当社では、合格後に講座の受講料補助があるため、こういった制度も活用していきたい。

Message!



建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

建設業界は、体力はもちろんですが、経験や技術が必要な場合もあり、働いていく上で非常に苦労しました。実際のところまだまだ勉強中ですが、現場が形になっていく姿をみると非常にやりがいを感じることができる楽しい業界だと思います。また、最近はICT化により建設業界は日々進歩しており昔のような3K(きつい・汚い・危険)から脱出しつつあり、男女関係なく動きやすくなっていると感じます。もし興味があればぜひ一緒に日本のインフラを守りましょう。

CASE
03

「現場で大切なのは、自分を知ってもらい相手を知ること」

現場代理人として家業を支える

Check!

POINT

- 前職で防水屋のいろはを学び、現在は現場代理人として家業に携わる。
- ゆくゆくは経営者となり、家業を継承したいという思いを持っている。

桑原 菜緒子氏
技術者（防水）
桑原建材株式会社



PROFILE



自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（防水）
- ②出身地：東京都
- ③学歴：大卒
- ④職歴：4年
- ⑤経歴：大学卒業後、防水関連の材料メーカーに入職。事務職や営業職を経験し現職。

所属企業の会社概要

- ・会社名——桑原建材株式会社
- ・事業概要——防水工事
- ・所在地——東京都千代田区
- ・従業員数——6人（うち女性2人）

入職した理由、前職の経験等

会社を営んでいる父から携わったことのある現場について教えてもらう等、幼い頃から建設業は身近な存在でした。大学は興味があった「食」に関するものが学べる農学部に入りましたが、キャンパス内で測量実習をする学生の姿をみて測量に興味を持ち、工学科に学部変更をしました。

大学卒業後は、すぐに父の会社に入社するつもりでしたが、「家業で働く前に外で学んで来い」という父の助言もあり、防水関連の材料メーカーに就職しました。

前職では、事務職や営業職を経験するなかで防水屋の一連の仕事の流れを学ばせていただいた後、父が経営する現在の会社に入社しました。

自身の現在の仕事内容、やりがい

現場代理人として、元請企業と下請企業の間立ち、現場の工程管理や人員配置等の調整を中心に行っています。また、作業前の打ち合わせでは、現場の工程や仕様、使用する材料の説明等を行っています。その時に、イメージ通りの仕事ができたとときや関係者の要望等に答えることができた時にやりがいを感じます。

また、作業着で電車に乗車したり、街を歩いていると、周りの方から「カッコいいね」や「頑張ってるね」と声をかけていただくことも多く、大変励みになっています。

これまでのキャリアパス

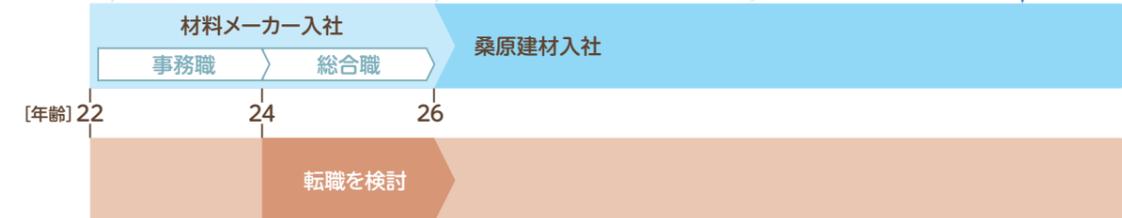
WORK

父の助言により事務職として外部の会社に入社。学生時代に学んでいたパソコンの知識を業務に活かした。

会社の配慮により転職先の父の会社でも経験を活かせるように、1か月ごとに様々な部署の先輩社員に同行して経験を積み、父の会社へ転職。

現場代理人として、各現場の全体管理（スケジュール管理や人員配置の調整等）を中心に業務に従事。

今後は、資格取得にも力を入れ、スキルアップを目指す。



PRIVATE

◎家業への転職

家庭の事情により、家業について改めて考えはじめたことがきっかけで、最終的に自らの意志で父の後を継ぐ決意をした。

◎家族と同じ会社で働くにあたり心掛けていること

- 仕事の時
親子ではあるが、会社では社長と社員のため、職場とプライベートの関係性は切り分けて業務に励んでいる。
- プライベート
家族とは同居している。自宅でも仕事のことを考えることもあるが、オンとオフをはっきりさせるため、プライベートの時は家族と仕事の話はしないように心掛けている。

◎休日の過ごし方等

- 食べるのが好きのため料理をしたり、友人と一緒に食事に出かけることでリフレッシュしている。

Q&A

Q 現場でのコミュニケーション

A 仕事上、人と会話することが大切なため、現場の方々とは自発的なコミュニケーションを図っている。また、高校までは女子校で周りは女性だけだったが、大学では理系学科のため男性が多かった。大学時代に男性とのコミュニケーション能力を身につけることができ、今の仕事に活かされている。

Q 現場の環境整備等

A 規模によるかもしれないが、環境整備は進んでいないことが多いと感じる。現場には、お手洗いが無いこともあるため、周辺の公共施設のお手洗いを借りることもある。また、現場の女性は、他事業種では見かけることがあり、特に内装関連に女性が多いというイメージを持っている。

Q 家業で働いていて苦労したこと

A 自分では関係ないと思っても、周囲からは「社長の娘」という目で見られてしまうこともある。社長である父や、会社の名に恥じぬよう、立ちふる舞うように常日頃から気を付けている。

Q 今後の会社の取組み

A 今後も、自身も含めた社員が、働き続けられるよう、自社としてどのような方法が最適なのかや採用・広報面をより強化できるよう検討していきたいと考えている。

Q 業界の魅力

A 現場に出ていると様々な他職種の方と出会い、仲良くなれること。現在も連絡を取り合うこともある。

Q 今後の目標

A 将来的には、経営者になり、家業を継承していきたい。そのためには、まずは職人に認められるような存在になりたい。

Message!



建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

以前と比べて建設業に女性が活躍している割合は高くなっていると感じます。職種にもよりますが、私達女性は職人気質にこだわらず、柔軟な対応が現場に限らず行えると思っています。これから入職を考えている方々には不安もあるでしょうが、大きな達成感を与えられることも多々あるので勇気を持って一歩踏み出して下さい。

CASE
04

「現場の楽しさは、様々な職種や年代の方とのコミュニケーション」 数々の現場を経験し、登録基幹技能者にも認定

Check!

POINT

- 大学院修了後、環境工事や地盤改良工事等の現場に長年携わる。
- これまでの経験や人脈を活かし、現在は営業部門の課長として従事。

島田 久美子氏
技術者（土木）
ケミカルグラウト株式会社



PROFILE

自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（土木）
- ②出身地：茨城県
- ③学歴：大学院 修了
- ④職歴：10年以上
- ⑤経歴：大学院修了後、現職

所属企業の会社概要

- ・会社名……ケミカルグラウト株式会社
- ・事業概要……地盤改良工事および安定処理工事、建設基礎工事等の調査、設計、施工、コンサルタント
- ・所在地……東京都港区
- ・従業員数……327人（うち女性57人）



入職した理由

普通科高校を卒業後、大学から大学院へと進学し、地盤工学研究室に所属し研究をしていました。就職活動時は、ゼネコンのように全体的に現場に関わるのではなく、関心のあった「土壌汚染」分野で密に現場に携わりたいという思いから、環境工事を行う当社に入社しました。社会人として働くことに対する漠然とした不安はありましたが、中高時代は運動部であったこともあり、体力的な面で現場に出ることへの不安はありませんでした。当社では、私が入社する数年前から女性の技術職を採用しており、現在も女性の技術職はほぼ毎年入社しています。

自身の仕事内容、やりがい

入社後すぐに念願であった環境工事に携わる部署に配属され、現場に出るだけでなく内勤で役所対応も経験しました。その後、地盤改良工事に携わる部署に異動となり、結果的に学生時代に学んでいたことも活かしながら現場に携わることができました。現場に長年携わり、現在は技術営業部に異動しました。これまでの人脈や経験等を活かしながら業務に励みたいと思います。

この仕事のやりがいは、携わった仕事が自分の心に残ることです。無事に工事が完了した際は、「やり遂げた」という達成感とともに現場での経験や思いが自分の記憶として心に残ります。また、お施主様や元請企業、協力会社の現場作業員等の方々とコミュニケーションを図りながら作業できることも魅力の一つです。

これまでのキャリアパス

WORK

入社後、すぐに現場に配属。所属は東京の本社だが現場は名古屋だったため、3か月ほど名古屋へ引越す。

お施主様や元請企業への説明に同行。同じ現場で年の近い先輩に指導してもらいながら業務に励む。

首都圏の現場だけでなく、岩手や富山等の地方の現場にも従事する。また、現場管理といった外勤だけでなく、時には内勤業務も兼務して対応していた。

技術営業部への異動と同時に課長に昇進。これまでの現場での経験も活かしながら働いている。



PRIVATE

◎地方の現場において
東京の本社所属でも、現場は地方の場合もあり、これまで愛知県、富山県、岩手県の現場に携わった。短期的な単身赴任のため、ウィークリーマンション等を活用していた。

◎休日の過ごし方
地方の現場に配属された際は、観光やショッピング、時には自宅でゆっくり体を休めるなどしてリフレッシュをしていた。

◎同僚との交流
当社は、社員同士がとても仲が良く、飲み会やボウリング大会、日帰り温泉旅行などをしてきた。各々別の現場に配属されている社員同士の情報共有の場となった。

◎資格取得
休日に当社で実施していた、講習会を受講。平日は業務に専念するため、資格取得に向けた勉強は休日に集中的に取り組んでいた。
※上記記載資格は主な取得済み資格。

Q&A

Q 苦労したこと

A 入社直後は、道具の名前や元請担当者・作業員の名前等、覚えなければいけないことが多く、休憩時間の雑談においても話についていけないことがあり、悔しい思いをした。

Q 現場の環境整備

A 公共工事の場合は、快適トイレの設置等進んでいると感じる。一方で土壌調査業務では、現場が動く前の段階のためお手洗いも未設置の場合が多く、近くの公共施設等を利用していた。

Q 現場でのコミュニケーション

A 協力会社の作業員とは付き合いが長くなり、気さくに話せるようになった。様々な職種や幅広い年代の方々とコミュニケーションをとることができるのも現場で働くことの醍醐味だと感じる。

Q 現場の地域差

A 皆、懸命に作業していることに地域差はないが、資材を手配した際の納期（スケジュール感）やご当地ルールのようなものもあり、地域差を感じた。また、雪国の現場では、作業が天候に左右されることを痛感した。

Q 会社の取組み

A 当社では毎年新入社員を採用しているため、新入社員を早く現場で受け入れてくれるよう、会社側が呼び掛けてくれている。また、男女や内外勤務問わず育休の取得実績があり、社員が就業を継続するための取組みも進んでいると感じる。

Q 今後の目標

A お客様や元請企業と話す際、これまでの経験のなかでしか話れない部分が多いと感じる。会社全体の業務を把握し知見を深め、信頼を得ていきたい。

Message!



建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

建設業界は男性が現在も多い職場ですが、女性が受け入れられる準備は整いつつあると感じています。また、体力勝負なイメージを持たれがちですが、建設業界で働く方々が特別体力がある方ばかりではないですし、建設業界だけが特別辛い仕事だとも思いません。様々な個性を持った大勢の人が協力し、支え合いながら働くことができるのがこの業界の魅力です。

CASE
05

「もう一度、設計の仕事に就きたい!」

子育てとの両立を図り、建築のオールラウンダーに

Check!

POINT

- 子育てが落ち着いたタイミングで設計の仕事に再チャレンジ。
- 会社と家庭の協力を得ながらワークライフバランスの両立を目指す。

根本 かわり氏
技術者（建築／設計）
有限会社ゼムケンサービス



PROFILE

自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（建築／設計）
- ②出身地：神奈川県
- ③学歴：大卒
- ④職歴：20年以上
- ⑤経歴：大学卒業後は、店舗の内装設計に携わり、現職では、建築工事全般に携わる。

所属企業の会社概要

- ・会社名：有限会社ゼムケンサービス
- ・事業概要：特定建設業、一級建築士事務所
- ・所在地：福岡県
- ・従業員数：9人（うち女性8人）



入職した理由、前職の経験等

昔から建築物の間取りを見ることが好きだったため、大学も設計に関する学科に入学しました。就職活動時も設計に関する仕事を探しており、流通業を中心に扱う設計施工会社に就職。九州地方を中心に販売店舗の内装設計や現場の監理をしていました。前職においても働き続けたいという思いはありましたが、結婚を機に退職しました。その後、子どもが小学校に進学した際に「もう一度設計の仕事に就きたい」と考え、転職を決意しました。ハローワークで現在の会社の求人を見つけ、社長が女性というのが珍しく興味を持ったため応募し、入社しました。

自身の現在の仕事内容、やりがい

設計だけでなく建築物の着工から完工までの現場監理に必要なすべての業務に携わっています。以前勤めていた設計会社との大きな違いは、設計業務だけでなく幅広い業務に携わらなければならないことです。また、現職に入職するまでの間にIT技術等の進歩により、働き方が大きく変化していることにも驚きました。そのため、今まで経験しなかったこともあり、苦労する点もありますが、職人や同僚等の周囲の方々とは積極的にコミュニケーションを図りながら業務を行っています。この仕事のやりがいは、多くの人と協力することで建築物が完成していくことです。周囲の方々との情報共有を大切にしながら今後も業務に励んでいきたいです。

これまでのキャリアパス

WORK

学生時代も同様に男性が多い環境であったが、社会に出るとそれまでは意識していなかった男女差を感じる場面があった。

周田が資格取得に励む姿に刺激を受け、様々な資格を取得。

手作業で図面を書くことは前職の経験により得意だと感じていたが、IT技術の進歩により、PC上で図面を書かなければならず苦労した。

社員がオールラウンダーになることを会社全体で目指しており、設計以外の業務を覚えることもチャレンジしながら楽しんでやっている。



PRIVATE

◎設計施工会社を退職

結婚後も、仕事を辞めずに続けたいという気持ちを持っていた。夫が離れた地域にあり、同居するため転勤の希望を伝えるも希望が通らず、退職せざるを得なかった。

◎育児と仕事の両立（現職場での協力体制）

プライベートも仕事の1つ、プライベートの体験を仕事に生かすと言う方針のもと、学校行事は積極的に参加しているし、介護の会議等にも出席するようにしている。とは言え限られた時間の中で業務を遂行するため、苦労することもある。皆の協力と工夫で乗り越えている。

◎育児と仕事の両立（家庭での協力体制）

親と同居しているので子供が小学生の時はお世話をお願いしていた。帰宅時間が少々遅くなっても安心して仕事に取り組むことができていた。

Q&A

Q 建設現場の女性就業者について

A 前職から建設現場で働いて女性が少ないと思っていたが、現職に入社してからより少ないと感じる。今後、建設業界で働く女性を増やすためには、環境整備が必要だと考える。

Q 会社の取組み

A ワークシェアリングという取組みを行っており、社員全員が自社が担当している各現場の情報を共有している。そのため、家庭の事情による急な早退にも別の人が対応できるようにしている。

Q 活用した自治体の取組み

A 特に利用していない。今は実家にいるため学童保育等は利用せず母が面倒を見てくれた。

Q 働くうえで困ったこと

A 今までの職場経験において結婚や出産育児を経ても活躍する女性のロールモデルがいなかった。そういった存在がいると参考になるし励みになると感じた。

Q 前職の設計施工会社と現職場との違い

A 社員のほとんどが女性であること。女性のロールモデルが身近にいるととても励みになる。

Q 今後の目標について

A 自身が携わっている建築の現場管理業務において、女性でもできるのだと言うところに共感して頂き、建設業で働く女性をどんどん増やしていきたい。

Message!



建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

私が建設業界に入職したのは、男女雇用機会均等法が施行された年でした。現在は、さらに多様性を尊重する社会へと変わってきています。男性社会と言われる建設業界においても私たち女性が声をあげることで、女性の活躍の場も広がっていくと思います。一緒に建設業界を盛り上げていきましょう!

CASE
06

「地元で現場監督になりたい！」

結婚や出産を経ても現場で活躍！

Check!

POINT

- 入社直後に資格取得に励み、活躍の場が広がる。
- 女性役員や女性管理職に相談しながら育児と仕事を両立。

萩原 忍氏
技術者（土木）
桂建設株式会社



PROFILE

自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（土木）
- ②出身地：茨城県
- ③学歴：専門学校卒
- ④職歴：10年以上
- ⑤経歴：専門学校卒業後、現職

所属企業の会社概要

- ・会社名……桂建設株式会社
- ・事業概要……舗装工事、土木一式・建築一式等
- ・所在地……茨城県牛久市
- ・従業員数……26人（うち女性7人）



入職した理由、経緯

テレビ番組の影響で幼い頃から設計に関心を持ち、高校卒業後は設計を学べる専門学校に進学しました。専門学校で建築について学ぶうちに、自分の性格に合うのは現場職だと感じるようになりました。また、学んだことを活かして地元で働きたいという思いもあったことから、就職活動時は建築の現場監督を希望していましたが、女性の現場監督の求人はほとんどありませんでした。そんな時、当社のみが女性の現場監督の求人を出しており、面接を経て入職しました。入社を機にこれまで学んでいた建築ではなく、土木に携わることになりましたが、「自分は現場に向いている」という思いは入社から現在まで変わらず、結婚や出産を経た現在も現場に出て働いています。

自身の現在の仕事内容、やりがい

当社では、茨城県牛久市を拠点に、創業当初は舗装工事を主に施工しておりました。現在は、様々な工事の実績を積み、土木一式・建築一式等幅広い工事を手がけております。そのなかで、私は公共土木工事の現場所長として働いています。入社直後に資格取得に取り組んだことで活躍の場が広がり、これまで橋梁下部工事や耐震補強工事、中学校の外構工事等の様々な現場に携わってきました。規模の大きな現場や長期間携わる現場は思い入れも強く、とても印象に残っています。この業界の魅力は作ったものが残ることだと思います。作るものや施工方法も現場によって異なるため、これまで培った経験や知識をどのように応用していけばよいか考えなければなりません。竣工検査等で必ず作ったものが評価されるため、その都度改善点を洗い出すことができ、次の現場でこれまでの経験を活かせることもやりがいの一つです。

これまでのキャリアパス



入社直後は先輩と一緒に現場に出て経験を積む。

2級土木施工管理技士取得後、現場代理人として一人で現場を担当する。

自社中心の現場やJVを組んで携わる現場等、様々な現場に従事する。

職場復帰後も、現場に従事。出勤時間を調整する等して、育児と両立。

1級土木施工管理技士を取得し監理技術者となり、今までより大きな仕事にも従事できるようになった。

◎職場復帰

- 復帰時期
元々同業種の別会社で働いていた夫が産休取得頃、当社に転職。互いの都合がわかりやすくスケジュールがたてやすかった。
- 体調面
子どもの夜泣きが少なく、睡眠時間が比較的取れたこともあり、復帰後も体調面の不安は少なかった。

◎夫の転職

元々同業種の別会社で働いていた夫が産休取得頃、当社に転職。互いの都合がわかりやすくスケジュールがたてやすかった。

◎資格取得

担当している現場の進捗状況をみながら、時間を作って資格を取得した。また、会社の資格取得支援制度も活用。

Q&A

Q 自社における採用活動

A 以前より、「女性だから採用しない」という考えは当社にはなく、男女関係なくやる気のある人材を採用している。作業員や技術者、営業職、事務職など様々な職種において女性の採用をこれまで行ってきた。

Q 現場の環境整備

A 県が発注している公共工事などの現場では、週休二日制や快適トイレの設置等がされており、現場の環境整備が徐々に進んでいると感じる。

Q 会社の取り組み

A 働き方改革を推進し、社員の残業時間の削減に努めている。また、現場のICTの活用も積極的に推進していく方針である。環境整備等を含め、できることから積極的に今後も取り組みを進めていく。

Q 職場の育児等に対する理解

A 女性の管理職もいるため相談しやすく、育児との両立について理解を得やすいと感じる。時差出勤についても相談しながら利用することができ助かった。

Q 活用した自治体の取り組み

A 土曜日に受け入れ可能な保育所や児童クラブがあったため、活用していた。

Q 今後の目標

A ICTの進歩により、測量や3D工事等、日々働き方が変化していると感じており、私自身も技術の進歩に対応していきたい。会社側も設備投資をする等して業界の変化に対応し、社員が様々なことにチャレンジできるよう応援してくれている。

Message!



今後建設業に女性等が就業継続していくために必要だと思うこと

「カッコいい」魅力が詰まった土木業界を中高生等の若い方に発信できる場があればよいと思います。また、出産や育児では初めての経験も多く「そもそもどうしたらよいか分からない」という漠然とした不安を抱えている場合があると思うので気軽に相談できる窓口があると良いと思います。

CASE
07

「今後、女性の活躍の場はさらに広がっていくはず」

社内の職場環境も年々変化！柔軟な働き方で育児と両立

Check!

POINT

- 充実した社内の相談体制を活用し、職場復帰後の不安軽減へ。
- 在宅勤務やフレックスタイム制を活用しながら、育児と両立。

株式会社マサル
技術者（防水）
針川 優子氏



PROFILE

自身のプロフィール概要

- ①職種：技術者（防水）
- ②出身地：栃木県
- ③学歴：大卒
- ④職歴：10年以上
- ⑤経歴：大学卒業後、現職

所属企業の会社概要

- ・会社名……株式会社マサル
- ・事業概要……リニューアル、修繕・改修工事
- ・所在地……東京都江東区
- ・従業員数……126人（うち女性26人）



入社した理由、社内の取組み

親戚が設計事務所を営んでいる姿を見て、設計士に憧れていました。そのため、大学は建築や設計を学べる学部に進学し、卒業後も設計に携わりたいという思いもありましたが、在学中に設計職は狭き門だと痛感しました。それでも建築の仕事に関わりたいという気持ちは変わらなかったため、現在の会社に入社しました。

当社では、毎年1～2人ほど女性社員が入社しています。また、女性社員の割合は社内全体の2割程度で、その中には技能職の者もおります。私が入社してから、出産を機に退職する女性社員はおらず、職場復帰に向けた取組みも年々進んでいると感じます。最近では、在宅勤務やフレックスタイム制なども導入され、ワークライフバランス実現に向けた環境整備も進んできています。これからは男性社員も育児休暇を取得する雰囲気になって行けば、いいなと思っています。

自身の現在の仕事内容、やりがい

入社直後は、リニューアル事業部に配属され、現在は、新築・改修現場の現場管理を担当しています。時には困難な問題に直面することもあります。それを乗り越えたときや現場で頼られたときにやりがいを感じます。この業界は、男性が多い業界ですが、男女差を感じたことはありません。今後も切磋琢磨し、まずは現場管理者として自立していきたいです。また、実務とは離れますが、建築仕上学会の女性ネットワークの会の活動で同じ業界で働く女性たちとディスカッション等をして情報共有も行っており、私も参加しました。周囲に女性が多くないため、このような出会いはとても貴重だと感じます。

これまでのキャリアパス

WORK

建築に関わりたいという思いで入社。入社後はリニューアル事業部に配属。

マンションや事務所のリニューアル工事（特に、防水関連）に現場管理者として従事。

復帰後も、引き続き現場管理に従事。

○1級建築施工管理技士取得
社内の昇格条件であったため、何度も挑戦。受験費用については会社の支援があった。

社内の昇格条件を満たし、係長に昇格。在宅勤務やフレックスタイム制を活用しながら、育児と両立して役職者の役割に従事。



PRIVATE

◎職場復帰
職場復帰のタイミングや役割分担について夫と話し合い、調整してから復帰した。

◎保活
居住する自治体が管轄する保育園については、自身の状況に応じて子どもの入園の優先順位が変動する。そのため、自治体窓口や先輩ママに相談し情報収集する等、計画的に保活に取り組んだ。その結果、利便性の高い保育園に預けられた。

◎学童
子どもが小学校に入学するにあたり、学童保育について情報収集している。学童保育も自治体や民間等、様々な運営形態があるため精査したい。

◎育児と仕事の両立
●保育園の送り迎えを分担し、夫は朝の送り出し、自身は迎えを担当。場面に依りて対応している。
●家族のサポート
急な体調不良の際、夫の両親が子どもの面倒をみてくれた。

Q&A

Q 職場復帰後の苦労

A 現在はそのようなことはないが、産後復帰した当時は、共働きという概念があまり浸透していないこともあり、子育てをしながら働き続けることについて、周囲の理解を得ることが難しい時期もあった。

Q 会社の相談体制

A 産業カウンセラーの資格を持つ社員や先輩ママに相談することができ、職場復帰に向けた精神的な安心材料となった。

Q その他、会社の制度

A 在宅勤務やフレックスタイム制も導入されている。自身の都合に合わせて業務時間をコントロールでき、大変助かっている。子育てをするようになってからは保育園のお迎え等で残業が困難なため、その分、少し早起きをして朝に仕事することもある。

Q 職場復帰における会社の環境

A 当社では、社員の声をもとに臨機応変に対応がなされ、保育園の送り迎えのために時差出勤を認めてくれたり、時短勤務ができる期間が延長されたりと、私が出産を経験した5～6年前と比較しても、さらに職場復帰しやすくなっている。

Q 夫との育児分担

A 朝の保育園への送り出しだけでなく、掃除や料理等も積極的に担当してくれる。資格取得の際も一時的に子どもの面倒をみてくれたため、勉強する時間も捻出でき、試験に合格することもできた。

Q 自治体の取組み

A 私自身は家族のサポートがあるため、まだ利用したことはないが、ファミリーサポートのような様々な取組みがある。

Message!



建設業への入職を考えている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

建設業では女性が年々増えていると実感しています。それでも男性が多い職場であることには変わりありませんが、今後は男性にとっても働きやすい環境整備を進めて行くことで女性の活躍の場もさらに広がっていくと思います。様々なことに挑戦していきましょう！

CASE
08

「周囲のサポートがあってこそ育児と仕事の両立ができる」

職場は子育て世代の社員が多く、育児との両立を助け合う社内風土

Check!

POINT

- 高校卒業後に入社。入社から現在まで設計業務に従事。
- 職場や家族、保育園との連携を図り仕事と子育てを両立。

甲斐理沙氏

日鉄テックスエンジニアリング株式会社（大分支店）
事務職（溶接／設計）



PROFILE

自身のプロフィール概要

- ①職種：事務職（設計）
- ②出身地：大分県
- ③学歴：高卒
- ④職歴：10年以上
- ⑤経歴：高校卒業後、現職

所属企業の会社概要

- ・会社名：日鉄テックスエンジニアリング株式会社
- ・事業概要：総合エンジニアリング事業（機械・電計・システム・土木・建築の複合）、メンテナンス事業、プラント操業事業、製造・販売事業
- ・所在地：東京都千代田区
- ・従業員数：12,112人（うち女性620人）



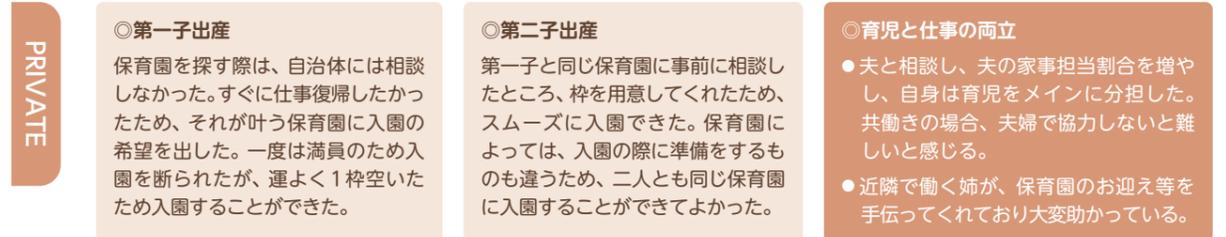
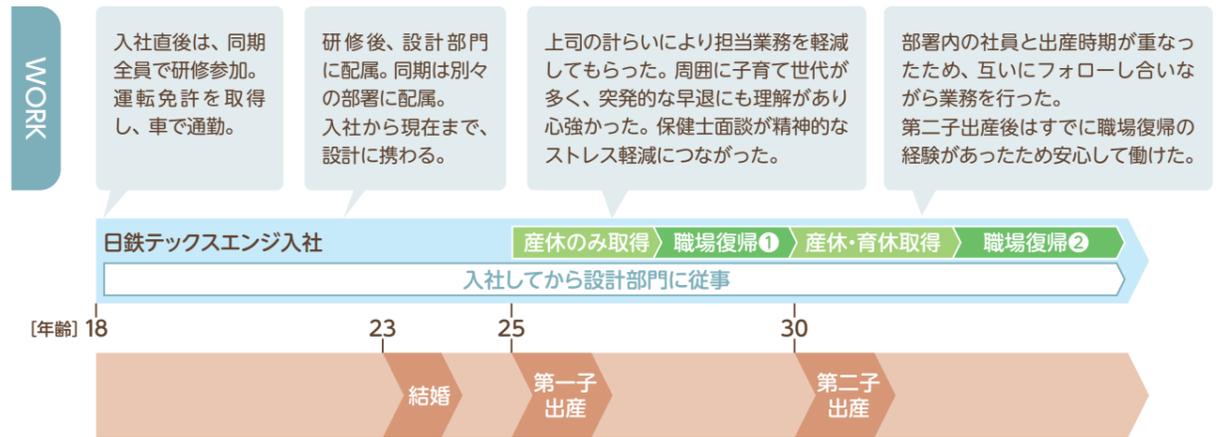
入職した理由や経緯、入社直後について

車の整備士をしている親の姿を見て、「工業を学びたい」と思い、情報システム科のある高校に進学しました。授業で建築や電気工事等の入りを学び、部活動では工業部に所属しアーク溶接と出会いました。高校3年間でものづくりの楽しさを知り、就職活動時には、「ものづくりに関われる仕事をしたい」と先生に相談したところ当社を紹介され入社しました。入社当時は、30人程いる同期のなかで女性は私一人でした。配属先にも同期や同世代の女性がおらず、最初は心細さも感じましたが、徐々に職場に馴染むことができ、今では相談相手も見つけることができました。

自身の現在の仕事内容、やりがい

入社以来、設計業務に携わっています。現在は、主に階段やデッキの設計において、CAD を利用した計画図面の作成や3D モデルの作成を担当しています。図面を描いてから物が完成するまでに時間が空いてしまうため、完成直後は自分が携わったという実感がわかない時も正直ありますが、自分が設計した物が使われている様子を目にしたとき、自分が携わったのだと実感し、やりがいを感じます。学生時代、設計の授業は苦手でしたが、授業で学んだことは現在の仕事にとっても役立っています。今も学生時代に関心があった溶接に携わりたい気持ちもありますが、家庭との両立を図りながらもやりがいを感じながら働くことができる現在の業務に引き続き励んでいきたいです。

これまでのキャリアパス



Q&A

- Q 入社時の不安**
A 入社当初は運転免許を取得したばかりだったため、車通勤するのが不安だった。
- Q 産休取得時に取り組んだこと**
A 自分のためだけでなく、今後、自分以外の社員が産前・産後休暇や育児休暇等取得の際にサポートできるように会社の規定を見返した。その他、必要な書類等も確認した。
- Q 自社における育児休暇等の取組み**
A 社内の育児休暇制度等の仕組みは、ある程度出来上がってきている。復帰時に保健士面談があり、言いにくいことは面談で相談できるため、相談体制についてはとても充実していると感じる。
- Q 自社における現場の環境整備**
A 自社として、現場のお手洗いの設置等といった環境整備に取り組んでいる。今後も引き続き、会社としてより良い環境となるよう改善に努めていく方針。
- Q 周囲の理解**
A 職場には子育て世代が多く、家庭の事情を理解し合える雰囲気のため、互いにフォローし合う環境ができている。
- Q 活用した自治体の取組み**
A 月に一度、自治体による子育てに関する取組みを紹介してもらえる機会があり母親同士の集まりの場の提供等、様々なサポートがあるということは知っていたが、うまく活用しきれなかった。今思うともっと活用すればよかったと思う。

Message!



建設業への入職を考えられている方が継続して働くために

社内の福利厚生が充実しており、周囲からの理解も得られやすいため、とても環境に恵まれていると感じます。周囲のサポートがないと子育てと仕事との両立は厳しく、就業を継続するためには、相談体制や職場との連携がとりやすい環境に身を置くことが大切だと思います。

CASE
09

「地元で植物と関われる仕事がしたい」

夫が育児休暇を取得！夫や職場のサポートで就業継続

Check!

POINT

- 事務職として採用後、繁忙期には現場に出ることも。
- 産休・育休取得後、職場復帰するのは社内で初。会社との連携も図る。

株式会社多々良造園
事務職兼技術者（造園）
杉澤 悠紀子氏



PROFILE

自身のプロフィール概要

- ①職種：現在の業務：事務職兼技術者
- ②出身地：山口県
- ③学歴：大卒
- ④職歴：8年
- ⑤経歴：大学卒業後は、物流業に就職。その後、市役所臨時職員を経験後、現職

所属企業の会社概要

- ・会社名……株式会社多々良造園
- ・事業概要……造園工事設計・施工管理
- ・所在地……山口県山口市
- ・従業員数……34人（うち女性9人）



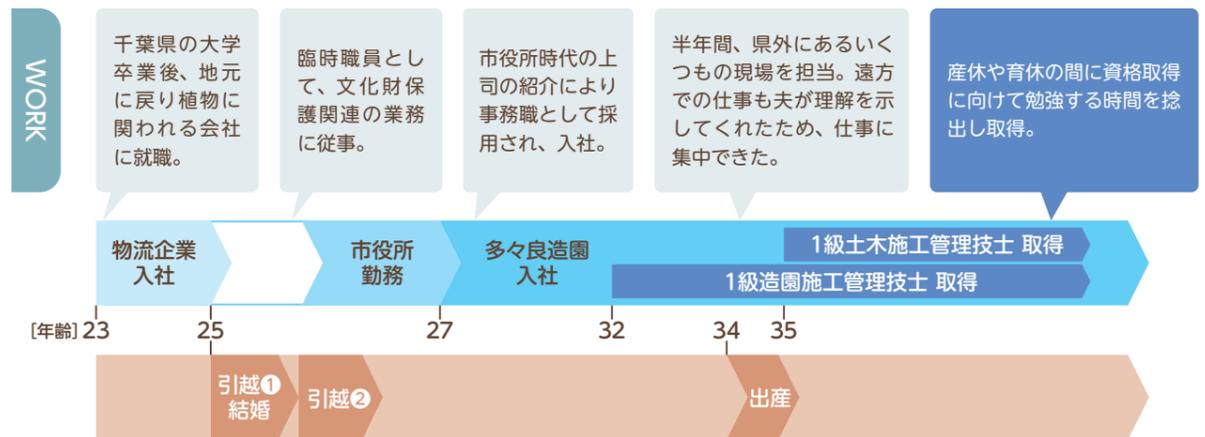
入職した理由、前職の経験等

千葉県の大学卒業後は、地元に戻り植物に関われる仕事がしたいと思い、山口県内にある森林公園の維持管理を行う物流企業に就職しました。その後、結婚を機に同社を退職し、岡山県に引っ越しましたが、「地元に戻りたい」という思いが強くなり、夫と相談し再び山口県内に戻りました。その際、夫は山口県外への転勤がない会社に転職し、私は山口県内の市役所で臨時職員として土器の修復等に携わりました。そして、臨時職員の任期満了を迎える際、市役所時代の上司に現在の会社を紹介してもらいました。植物に関われる仕事であり、社長夫妻が同じ大学のOB・OGというご縁もあって入社しました。

自身の現在の仕事内容、やりがい

元々は事務職として採用されましたが、繁忙期に現場に出て働くようになりました。主に維持管理業務に携わりましたが、県外にある複数の工事現場を担当することもありました。妊娠・出産後は主に事務職として働いており、見積もりや提案資料の作成、総務全般の仕事、工事書類の作成等を行っています。調査や現地確認、短時間で終わる現場の立ち合い等で現場に行くこともあります。お客様の要望を形にするためプランニングすることがとても楽しく、お客様に自分が携わった現場を気に入ってもらえた時にやりがいを感じます。現在は事務がメインですが、現場がうまく回っている様子を見ると事務職として現場を支えられていると実感でき嬉しくなります。

これまでのキャリアパス



- ◎結婚当時
 - 結婚のため、地元山口県から岡山県に引っ越す。
 - 夫婦で相談し、夫婦ともに転職。再び山口へ引っ越す。
- ◎第一子出産
 - 自身の育児休暇中に、夫も育児休暇を半年間取得。そのため、夫婦二人で育児をすることができ、資格取得に向けた時間の捻出にもつながった。
 - 職場復帰と同時に、保育園に入園。どこも満員だったが、運よく入園できた。
 - 職場復帰後は、時短勤務を活用。
- ◎育児と仕事の両立
 - 家事や育児の分担は、特段決めず、夫婦で臨機応変に対応。

Q&A

Q 夫の育児について

A 夫も育休を半年間取得し、早い段階から育児を経験できた。そのため、私が仕事で不在の時のワンオペ育児にも積極的。産後間もない時に男性も育休を取得し、育児を経験できるとその後の育児への抵抗感が少なくなると感じる。

Q 産休取得時に苦労したこと

A 自分しか把握していない仕事の引継ぎ。実際に携わらないと分からないこともあるため、産休中も連絡を取れるようにしていた。

Q 活用した自治体の取組み

A 自治体が運営する保育園を活用。職場復帰前に、窓口で、保育所の空き状況について確認・相談。7箇所の保育園に見学も行った。

Q 現場の環境整備

A 大きい現場であれば、男女別トイレ等の環境整備がある程度されているが、小さい現場だと設置場所も限られており、なかなか難しい。

Q 今後の会社の取組み

A 自分が社内で初めて産休・育休を取得して仕事復帰をした事例であるため、今後の取組みについては社長等と相談しながら検討している状態。男性社員も育休が取得できるようになれば良いと考えている。

Q 活用した会社の制度や取組み

A 時短勤務と病児保育の費用補助を活用。時短勤務は、社長と相談して柔軟に対応できている。病児保育の費用補助についても、費用面での負担が軽減され大変助かっている。

Message!

建設業への入職を考えられている方や就業の継続に悩む方へのメッセージ

仕事を始めた当初は、分からないことだらけで、先輩方についていくので精一杯でした。様々な現場や仕事を経験して少しずつ理解できると、面白さややりがいが出てきます。たとえ失敗したとしても、先輩や上司がフォローしてくれるので、恐れずに飛び込んでみてください。

令和4年4月

国土交通省地方整備局
ご担当者様

建設産業人材確保・育成推進協議会
事務局：一般財団法人建設業振興基金

令和4年度 作文コンクールの実施について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当財団の業務につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、建設産業人材確保・育成推進協議会では、建設産業の役割や重要性について理解と関心を高めていただくことを目的として、建設産業に従事している方と高校生を対象とした作文コンクールを毎年実施しております。

本年度も、下記のとおり実施いたしますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

●社会人の部「私たちの主張」

1. 募集対象 建設産業の仕事に従事している方
2. 募集テーマ 建設産業にまつわる内容で、以下のテーマで作品を募集します。
「次世代に伝えたい建設産業の魅力と誇り」
又は
「建設産業を通じて感じた自身の成長」
3. 募集期間 令和4年5月9日（月）～6月30日（木）

●高校生の部「高校生の作文コンクール」

1. 募集対象 高等学校の建築学科、土木学科等で学ぶ生徒
2. 募集テーマ 建設産業にまつわる内容で、以下のテーマで作品を募集します。
「私たちの暮らしと建設産業」
又は
「私が描く建設産業の未来」
3. 募集期間 令和4年5月9日（月）～6月30日（木）

※募集詳細は同封するチラシをご覧ください。

以 上

【問い合わせ】

建設産業人材確保・育成推進協議会
(事務局)
一般財団法人建設業振興基金
経営基盤整備支援センター 人材育成支援課
担当：須藤、溝口
TEL：03-5473-4572 / FAX：03-5473-4594
MAIL：jinzai@kensetsu-kikin.or.jp

整

私たちの 主張

未来を創造する建設産業

令和4年度

届けよう建設産業への熱い想い！

応募
期間

令和4年

当日消印有効

5月9日月～6月30日木

主催／国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会

建設産業で働く皆さんへ

国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会では、皆さんの建設産業への熱い想いを伝えていただくとともに、一般の人たちへ建設産業の役割や重要性について理解と関心を高めていただくために、建設産業で働く皆さんの主張を募集します。

1 募集対象	建設産業の仕事に従事している方
2 募集テーマ	建設産業にまつわる内容で、以下のテーマで作品を募集します。 次世代に伝えたい建設産業の魅力と誇り 又は 建設産業を通じて感じた自身の成長
3 応募作	<ul style="list-style-type: none">・応募作は自作の未発表のものに限ります。・作品は本文1,600字～2,000字以内。・作品の冒頭には募集テーマとタイトルを付し、会社名・氏名を記入してください。・作品のタイトルは募集テーマとは異なるものにしてください。・パソコン等で作成した作品は、電子データでも提出可能*です。・用紙で提出する場合は、A4サイズの原稿用紙又は無地の紙を使用し、印刷又はコピーでも提出可能ですが片面印刷をお願いします。 *団体・会社等を経由して応募する場合は、応募方法は団体・会社等の指示に従ってください。
4 応募期間	令和4年5月9日（月）～6月30日（木）（当日消印有効）
5 応募方法	<p>📄 用紙によるご応募の場合</p> <p>必要事項を記入した応募用紙に作品を添え、応募先（裏面参照）又は建設産業人材確保・育成推進協議会（事務局：建設業振興基金）にお送りください。作品は折らないで同封してください。</p> <p>✉️ 電子データによるご応募の場合</p> <p>原則、特設サイトからダウンロードした応募フォーム（doc,docx,txt）のいずれかに必要事項を入力し、電子メールに添付のうえ送信してください。</p> <p>🌐 WEBからのご応募の場合</p> <p>特設サイトから応募サイトにアクセスいただき必要事項を入力し、ご応募ください。</p> <p>電子データ又はWEBでご応募の場合 建設現場へGO! 検索</p> <p>WEBサイト「建設現場へGO!」トップページ下に、作文コンクール特設サイトのバナーがございますのでアクセスしてください。</p> <p>*団体・会社等で作品をとりまとめて提出いただく際の注意事項 用紙の作品には1作品ずつ応募用紙を添付してください。電子データの作品は応募書類を利用し1作品1ファイルとして、メールに添付して送信いただくか、CD-R等に格納してお送りください。</p>
6 審査	国土交通省に設置する「優秀作選考委員会」において行います。
7 表彰及び発表	<p>国土交通大臣賞 1名程度（賞状及び副賞） 国土交通省不動産・建設経済局長賞 2名程度（賞状） 優秀賞 5名程度（賞状）</p> <p>入賞者は令和4年10月頃、国土交通省及び（一財）建設業振興基金HP等で公表します。国土交通大臣賞は、国土交通省において、令和4年10月に表彰を行い、同日に開催する令和4年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典にも参加いただく予定です。また、その他の入賞者については、地方整備局等において表彰を行う予定です。</p> <p>*新型コロナウイルス対応のため、表彰時期等については延期（又は中止）する可能性があります。</p>

*入賞作品は、（一財）建設業振興基金HPや機関紙、新聞等に掲載させていただくと共に、建設産業人材確保・育成推進協議会が実施する担い手確保・育成に関する事業において紹介させていただきます。ご応募によっていただきました個人情報は、その運営に必要な範囲内で利用し、応募者の同意を得ずに利用目的を超えて利用することはありません。入賞作の権利は国土交通省に帰属し、応募作は返却致しません。
*大臣賞の受賞経験者は大臣賞候補からは除外させていただきます。

問合せ先

（一財）建設業振興基金 経営基盤整備支援センター「私たちの主張」係
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館6階
TEL：03-5473-4572 MAIL：jinzai@kensetsu-kikin.or.jp

私たちの主張

応募用紙

⚠ 応募用紙記入上の注意

下記事項を記入の上、応募作品に添付して応募先（裏面参照）または事務局（建設業振興基金）にお送りください。

※団体・会社で応募する場合は、応募方法は所属の団体・会社の指示に従ってください。

募集テーマ (○を付けてください)		次世代に伝えたい建設産業 の魅力と誇り		建設産業を通じて感じた 自身の成長
タイトル				
氏名	(ふりがな)		本文の文字数	文字
年齢			性別 (○を付けてください)	男 女
自宅住所	〒			
電話番号				
メールアドレス				
所属する 都道府県建設業協会		所属 (建設業協会)	無所属
会社名				
会社住所	〒			
会社電話番号				
職種	該当する職種に○を付けてください 施工管理・技能職・設計・積算・事務・営業・その他 ()			
建設産業における 勤続年数		年		か月

この応募用紙を作品の表紙としてお使いください

団体名	郵便番号	所在地	TEL	協会等ホームページ
(一社) 北海道建設業協会	060-0004	札幌市中央区北四条西3-1	011-261-6184	http://www.doukenkyo.jp/
(一社) 青森県建設業協会	030-0803	青森市安方2-9-13	017-722-7611	http://www.ackenkyo.or.jp/
(一社) 岩手県建設業協会	020-0873	盛岡市松尾町17-9	019-653-6111	https://www.iwaken.or.jp/
(一社) 宮城県建設業協会	980-0824	仙台市青葉区支倉町2-48	022-262-2211	http://www.miyakenkyo.or.jp/
(一社) 秋田県建設業協会	010-0951	秋田市山王4-3-10	018-823-5495	http://a-kenkyo.or.jp/
(一社) 山形県建設業協会	990-0024	山形市あさひ町18-25	023-641-0328	http://www.agc-y.or.jp/
(一社) 福島県建設業協会	960-8061	福島市五月町4-25	024-521-0244	http://www.e-fukuken.or.jp/
(一社) 茨城県建設業協会	310-0062	水戸市大町3-1-22	029-221-5126	http://www.ibaken.or.jp/
(一社) 栃木県建設業協会	321-0933	宇都宮市築瀬町1958-1	028-639-2611	http://www.tochiken.or.jp/
(一社) 群馬県建設業協会	371-0846	前橋市元総社町2-5-3	027-252-1666	https://www.gun-ken.or.jp/
(一社) 埼玉県建設業協会	336-8515	さいたま市南区鹿手袋4-1-7	048-861-5111	http://www.sk.k.or.jp/
(一社) 千葉県建設業協会	260-0024	千葉市中央区中央港1-13-1	043-246-7624	https://www.chikenkyo.or.jp/
(一社) 東京建設業協会	104-0032	中央区八丁堀2-5-1	03-3552-5656	http://www.token.or.jp/
(一社) 神奈川県建設業協会	231-0011	横浜市中区太田町2-22	045-201-8451	https://www.shin-ken.or.jp/
(一社) 山梨県建設業協会	400-0031	甲府市丸の内1-13-7	055-235-4421	http://www.y-kenkyo.or.jp/
(一社) 新潟県建設業協会	950-0965	新潟市中央区新光町7-5	025-285-7111	https://www.shinkenkyo.or.jp/
(一社) 長野県建設業協会	380-0824	長野市南石堂町1230	026-228-7200	http://www.choken.or.jp/
(一社) 岐阜県建設業協会	500-8502	岐阜市藪田東1-2-2	058-273-3344	http://www.gikenkyo.jp/
(一社) 静岡県建設業協会	420-0851	静岡市葵区黒金町11-7	054-255-0234	https://www.sizkk-net.or.jp/
(一社) 愛知県建設業協会	460-0008	名古屋市中区栄3-28-21	052-242-4191	http://www.aikenkyo.or.jp/
(一社) 三重県建設業協会	514-0003	津市桜橋2-177-2	059-224-4116	https://www.miekenkyo.or.jp/
(一社) 富山県建設業協会	930-0094	富山市安住町3-14	076-432-5576	https://www.tomiken.or.jp/
(一社) 石川県建設業協会	921-8036	金沢市弥生2-1-23	076-242-1161	http://www.ishikenkyo.or.jp/
(一社) 福井県建設業協会	910-0854	福井市御幸3-10-15	0776-24-1184	http://www.fukui-pbcs.or.jp/
(一社) 滋賀県建設業協会	520-0801	大津市におの浜1-1-18	077-522-3232	http://yumeken.or.jp/
(一社) 京都府建設業協会	604-0944	京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町645	075-231-4161	https://www.kyokenkyo.or.jp/
(一社) 大阪建設業協会	540-0031	大阪市中央区北浜東1-30	06-6941-4821	https://www.o-wave.or.jp/
(一社) 兵庫県建設業協会	651-2277	神戸市西区美賀多1-1-2	078-997-2300	https://hyokenkyo.or.jp/
(一社) 奈良県建設業協会	630-8241	奈良市高天町5-1	0742-22-3338	http://www.nakenkyo.or.jp/
(一社) 和歌山県建設業協会	640-8262	和歌山市湊通丁北1-1-8	073-436-5611	http://www.wakenkyo.or.jp/
(一社) 鳥取県建設業協会	680-0022	鳥取市西町2-310	0857-24-2281	https://www.tori-ken.or.jp/
(一社) 島根県建設業協会	690-0048	松江市西嫁島1-3-17	0852-21-9004	http://www.shimakenkyo.or.jp/
(一社) 岡山県建設業協会	700-0827	岡山市北区平和町5-10	086-225-4131	https://www.okakenkyo.jp/
(一社) 広島県建設業協会	730-0012	広島市中区上八丁堀8-23	082-511-1430	http://www.hirokenkyo.or.jp/
(一社) 山口県建設業協会	753-0074	山口市中央4-5-16	083-922-0857	http://www.yamaken.or.jp/
(一社) 香川県建設業協会	760-0026	高松市磨屋町6-4	087-851-7919	https://www.kaken-honbu.or.jp/
(一社) 徳島県建設業協会	770-0931	徳島市富田浜2-10	088-622-3113	https://www.tokuken.or.jp/
(一社) 愛媛県建設業協会	790-0002	松山市二番町4-4-4	089-943-5324	http://www.himekenkyo.or.jp/
(一社) 高知県建設業協会	780-0870	高知市本町4-2-15	088-822-6181	https://www.kokenkyo.or.jp/
(一社) 福岡県建設業協会	812-0013	福岡市博多区博多駅東3-14-18	092-477-6731	http://www.fukukenkyo.org/
(一社) 佐賀県建設業協会	840-0041	佐賀市城内2-2-37	0952-23-3117	https://www.sakenkyo.or.jp/
(一社) 長崎県建設業協会	850-0874	長崎市魚の町3-33	095-826-2285	http://www.ngsk-kenkyou.or.jp/
(一社) 熊本県建設業協会	862-0976	熊本市中央区九品寺4-6-4	096-366-5111	http://kumaken.or.jp/
(一社) 大分県建設業協会	870-0046	大分市荷揚町4-28	097-536-4800	http://www.oitakenkyo.or.jp/
(一社) 宮崎県建設業協会	880-0805	宮崎市橘通東2-9-19	0985-22-7171	http://www.miyazaki-kenkyo.or.jp/
(一社) 鹿児島県建設業協会	890-0064	鹿児島市鴨池新町6-10	099-257-9211	http://kakenkyo.or.jp/
(一社) 沖縄県建設業協会	901-2131	浦添市牧港5-6-8	098-876-5211	http://www.okikenkyo.or.jp/
(一社) 全国建設産業団体連合会	105-0001	港区虎ノ門4-2-12	03-5473-1596	http://www.kensanren.or.jp/
(一社) 建設産業専門団体連合会	105-0001	港区虎ノ門4-2-12	03-5425-6805	http://www.kensenren.or.jp/

事務局

(一財) 建設業振興基金	105-0001	港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目 MT ビル2号館6階	03-5473-4572 メールアドレス	https://www.kensetsu-kikin.or.jp/ jinzai@kensetsu-kikin.or.jp
--------------	----------	----------------------------------	-------------------------	---



令和4年4月

関係各位

建設産業人材確保・育成推進協議会
事務局：一般財団法人建設業振興基金

令和4年度「高校生の作文コンクール」の実施について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当財団の業務につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、建設産業人材確保・育成推進協議会では、国土交通省と連携し、建設産業の役割や重要性について理解と関心を高めていただくことを目的として、皆様の御協力のもと高校生を対象とした作文コンクールを毎年実施しております。

本年度は、下記のとおり実施いたします。ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、貴校生徒の皆様へご周知いただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 募集対象 高等学校の建築学科、土木学科等で学ぶ生徒
2. 募集テーマ 建設産業にまつわる内容で、以下のテーマで作品を募集します。
「私たちの暮らしと建設産業」 又は 「私が描く建設産業の未来」
3. 募集期間 令和4年5月9日（月）～6月30日（木）

※募集詳細は同封するチラシをご覧ください。

以上

【問い合わせ】

建設産業人材確保・育成推進協議会
(事務局)
一般財団法人建設業振興基金
経営基盤整備支援センター 人材育成支援課
担当：須藤、溝口
TEL：03-5473-4572 / FAX：03-5473-4594
MAIL：jinzai@kensetsu-kikin.or.jp

高

令和4年度

高校生の

建設産業への想い

作文コンクール

令和
4年

応募期間

5月9日(月)

↓
6月30日(木)

当日消印有効

高校生の皆さんへ

国土交通省と建設産業人材確保・育成推進協議会では、建設産業の仕事をより身近なものに感じていただくために、高校生による作文コンクールを実施します。

①募集対象

高等学校の建築学科、土木学科等で学ぶ生徒

建設産業にまつわる内容で、以下のテーマで作品を募集します。

②募集テーマ

- ◎私たちの暮らしと建設産業
又は
- ◎私が描く建設産業の未来



③応募作

- ・応募作は自作の未発表のものに限ります。
- ・作品は本文1,000字～1,200字以内。
- ・作品の冒頭には募集テーマとタイトルを付し、学校名・氏名を記入してください。
- ・作品のタイトルは募集テーマとは異なるものにしてください。
- ・パソコン等で作成し、プリントアウトしての提出も可能です。
- ・作品を印刷する場合はA4サイズ、片面印刷をお願いします。

④応募期間

令和4年5月9日(月)～6月30日(木) (当日消印有効)

応募用紙及び代表作品リストに必要事項を記入の上、建設産業人材確保・育成推進協議会(事務局:建設業振興基金)に郵送してください。作品は折らないで同封してください。応募用紙はWEBサイトからもダウンロードできます。

⑤応募方法

応募用紙のダウンロードはこちら

🔍 建設現場へGO!

検索

WEBサイト「建設現場へGO!」トップページ下に、作文コンクール特設サイトのバナーがございますのでアクセスしてください。

⑥審査

国土交通省に設置する「優秀作選考委員会」において行います。

- ◎国土交通大臣賞……………1名程度(賞状及び副賞)
- ◎国土交通省不動産・建設経済局長賞……………2名程度(賞状)
- ◎優秀賞……………15名程度(賞状)

⑦表彰及び発表

入賞者は令和4年10月頃、国土交通省及び(一財)建設業振興基金HP等で公表します。国土交通大臣賞は、国土交通省において、令和4年10月に表彰を行い、同日に開催する令和4年度優秀施工者国土交通大臣顕彰式典にも参加いただく予定です。また、その他の入賞者については、地方整備局等において表彰を行う予定です。

※新型コロナウイルス対応のため、表彰時期等については延期(又は中止)する可能性があります。

※入賞作品は、(一財)建設業振興基金HPや機関紙、新聞等に掲載させていただくと共に、建設産業人材確保・育成推進協議会が実施する担い手確保・育成に関する事業において紹介させていただきます。応募用紙等に記載の個人情報、その運営に必要な範囲内で利用し、応募者の同意を得ずに利用目的を超えて利用することはありません。入賞作の権利は国土交通省に帰属し、応募作は返却致しません。

※大臣賞の受賞経験者は大臣賞候補からは除外させていただきます。

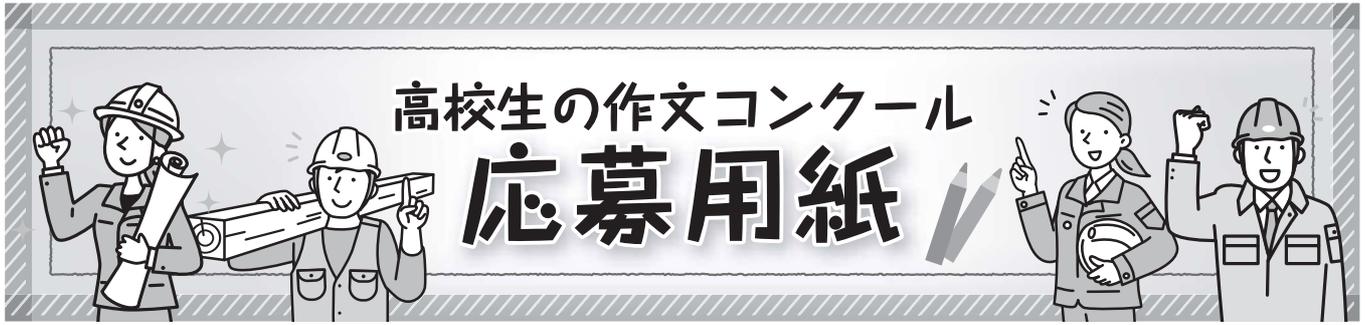
※作文の執筆にあたり、建設産業のことや、建設工事のこと等でわからないことは、下記の問い合わせ先までご連絡ください。また、WEBサイト「建設現場へGO!」<<https://genba-go.jp/>>もご参照ください。

問合せ先
(送付先)

(一財)建設業振興基金 経営基盤整備支援センター「高校生の作文コンクール」係

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目 MTビル2号館6階

TEL: 03-5473-4572 MAIL: jinzai@kensetsu-kikin.or.jp



～ 応募用紙及び代表作品リストの記入について～

- ①本用紙は、学年ごとに取りまとめたいただいた作品の表紙としてお使いください。
- ②裏面に「**代表作品リスト**」がありますので、必要事項をご記入ください。
- ③代表5作品に選ばれなかった作品についてもすべてお送りください。
- ④学年ごとに取りまとめたいただいた作品は、学校で取りまとめて建設産業人材確保・育成推進協議会（事務局：建設業振興基金）に郵送ください。

※ FAX では受け付けておりませんのでご了承ください。

学 校 名	
学校所在地	〒
学 科 名	
学 年	
担当者名	(ふりがな)
電 話 番 号	
メー ル ア ド レ ス	
応募作品に対する問合せの他、(一財)建設業振興基金より担い手育成に関する情報を紹介させていただきます。	

応募作品数	総数	作品	内訳	男	作品
				女	作品

この応募用紙を作品の表紙として学年ごとにお使いください

* 代表作品リスト *

※学年ごとに代表5作品を選出してください。その他作品についてもすべてお送りください。
※作品タイトルは、募集テーマとは異なるものにしてください。

学校名			
募集テーマ (○を付けてください)	私たちの暮らしと建設産業 私が描く建設産業の未来	本文の文字数	文字
タイトル		学 年	年生
氏 名	(ふりがな)	性 別 (○を付けてください)	男 女
募集テーマ (○を付けてください)	私たちの暮らしと建設産業 私が描く建設産業の未来	本文の文字数	文字
タイトル		学 年	年生
氏 名	(ふりがな)	性 別 (○を付けてください)	男 女
募集テーマ (○を付けてください)	私たちの暮らしと建設産業 私が描く建設産業の未来	本文の文字数	文字
タイトル		学 年	年生
氏 名	(ふりがな)	性 別 (○を付けてください)	男 女
募集テーマ (○を付けてください)	私たちの暮らしと建設産業 私が描く建設産業の未来	本文の文字数	文字
タイトル		学 年	年生
氏 名	(ふりがな)	性 別 (○を付けてください)	男 女
募集テーマ (○を付けてください)	私たちの暮らしと建設産業 私が描く建設産業の未来	本文の文字数	文字
タイトル		学 年	年生
氏 名	(ふりがな)	性 別 (○を付けてください)	男 女

(一財) 建設業振興基金 経営基盤整備支援センター「高校生の作文コンクール」係
建設産業人材確保・育成推進協議会 事務局

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目 MTビル2号館6階
TEL: 03-5472-4572 メールアドレス: jinzai@kensetsu-kikin.or.jp



「建設現場へGO!」のホームページでは、「建設の仕事ってどんな内容なの?」、
「建設業で働く女性ってどんな人?」「建設業で働くためにはどうしたらいいの?」など、
建設業のシゴトに関する情報コンテンツを発信!



一見、知る、働く、建設産業のJobポータル
建設現場へGO!

<https://genba-go.jp/>

建設業で働くための
18歳のハローワーク

<https://genba-go.jp/18hellow/>

建設産業
女性定着支援
WEB

<https://www.kensetsu-kikin.jp/woman/>

建設業しんこうには お役立ち情報がたくさん！！

年10回発刊！WEBサイトでチェック！

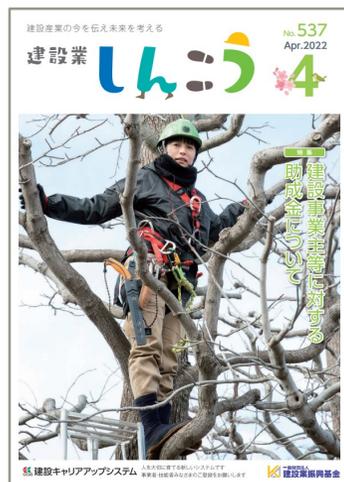
建設業
しんこう Web

建設産業の今を伝え未来を考える



建設産業で働く女性にインタビュー

今年度の表紙では、毎号、建設産業で活躍する女性を紹介していきます。さらに裏表紙では入職のきっかけ、日々の仕事について等のインタビュー記事を紹介！建設産業の魅力満載です！！



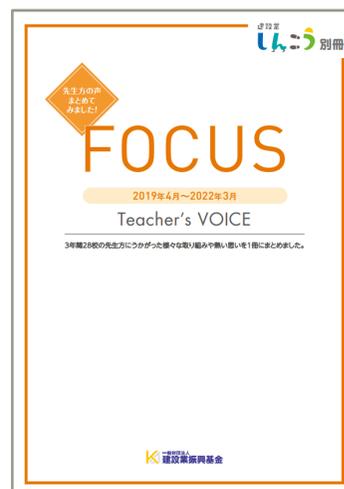
「建設業しんこう」2022年4月号
取材協力：株式会社富士植木

check !



高校の先生にインタビュー

2019年4月号より連載中の「FOCUS」のコーナーでは全国の工業高校等の取り組みをご紹介しています。3年分・28校に及ぶ先生方の声を1冊にまとめてみました！



「建設業しんこう」2021年3月号
取材協力：東京都立田無工業高等学校

check !



ダウンロードも
可能です

建設キャリアアップシステム(CCUS)とは

建設現場で働く若い世代がキャリアパスの見通しを持ち、技能・経験に応じた処遇の改善、技能者を評価し育成する企業が伸びていける建設業を目指すシステムであり、国と業界が総力を挙げ普及に向け取り組んでいます。全国約**16万**の建設企業、約**85万人**の技能者が登録しています！(2022年3月末現在)

システムへの登録

登録するとCCUSカードが交付されます。



現場での読み取り

現場に設置されたカードリーダーなどでカードを読み取ります。



就業履歴の登録

CCUSに就業履歴が登録されます。



施工業者の施工能力を見える化



ゴールドカード：●●人
シルバーカード：▲▲人

基礎情報：★★★★
施工能力：★★★★
コンプライアンス：★★★★

所属する職人のレベルや人数等に応じて、施工業者の施工能力を★～★★★★により評価。結果は評価団体・国土省のHPで公表。

職人のレベルを評価

ゴールド：レベル4
シルバー：レベル3
ブルー：レベル2
ホワイト：レベル1



レベルに応じた色のCCUSカードが職人に交付されます。

建設キャリアアップシステムのメリットとは？

- ✓ 職人を育てると、施工力の評価がUPし、受注機会の拡大に期待
- ✓ 経営事項審査での加点や総合評価での加点など、公共工事で評価がUP
- ✓ 建退共手続など事務作業の効率UP
- ✓ 施工業者・職人の評価が見えることで、施工に対する信頼UP

ご案内

Q. 登録手続きや利用方法について

建設業振興基金
(<https://www.ccus.jp/>)
03-6386-3725



Q. 施策の概要について

国土交通省 建設市場整備課
(https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_fr2_000033.html)



建設企業の求人票における「CCUS登録事業者」である旨の記載について

- 2022年度より、建設企業が新規高卒者求人を行う際、求人票の特記事項欄に、CCUSの登録状況、専門工事企業の施工能力等の見える化評価の状況について、統一的な記載が可能となりました。
- CCUSを活用して、技能者の処遇改善や技能者を評価し育成する企業が伸びていける建設業を目指し、国と業界が一丸となって取り組んでいます。
- 生徒の進路指導にあたりましては、CCUSに登録している建設企業を積極的にご検討いただきますようお願い致します。

(1/2)

求人番号 13070-8309
 受付年月日 令和2年1月23日
 受付安定所 ○○公共職業安定所
 求人票 (高卒)

事業所番号 1307-940621-1
 〇〇建設株式会社

1 会社の情報

業種	業態	従業員数	就業場所	うち女性	うち外国人
電気工事	株式会社	105人	105人	42人	6人
設立	昭和55年	資本金	4千	円	10億円

<記載例>

(2/2)

求人番号 13070-8309
 受付年月日 令和2年1月23日
 受付安定所 ○○公共職業安定所
 求人票 (高卒)

事業所番号 1307-940621-1
 〇〇建設株式会社

2 仕事の情報

職種 電気工事

業務内容 自社で製造している電子部品 (主に自動車用部品) 受注計画に基づき新製品開発に合わせた製品の受注から納品までのフォロー、代金回収等

3 選考

選考期間 9月5日 ~ 9月11日

選考日 9月16日 以降随時

選考内容 可 (令和2年10月1日以降)

選考結果 再選考結果通知 面接後 7日以内

応募資格 既卒応募 可 (卒業後概ね 3年以内)
 高校中退者応募 可

入社日 随時

選考場所 〇〇建設株式会社 〇〇支店

選考科目 面接 適性検査 その他 (〇〇テスト、△△試験)

学科試験 (一般常識 英語 数学 英語 社会 理科 作文 その他)

選考費用 あり/なし

採用担当 人事部 課長 リーダー

氏名 〇〇 厚男 安子

FAX 09-9999-9876

特記事項欄を是非ご確認ください

5 補足事項・特記事項

補	試用期間: 3ヶ月 応募前職場見学については、7月20日以降実施予定です。 応募前職場見学への参加の有無によって採用を決定するものではありません。	かかる特記事項	特別に支払われる手当について 賞与手当: 当社の定める賞与を保有している場合 通勤手当: 欠勤がなかった場合 選考費用は上限50000円まで
事	建設キャリアアップシステム登録事業者です。見える化評価施工能力★4つ取得しています。 建設キャリアアップシステム技能者登録を会社が代行して行います。等		

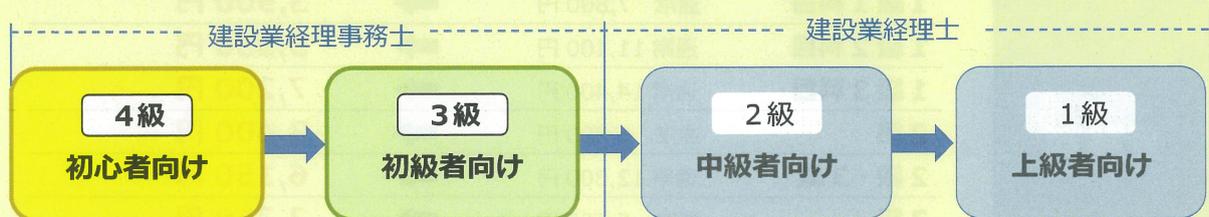
建設業経理士 建設業経理事務士

建設業の経営に
役立つ資格です



建設企業で注目されている資格です！

建設会社は、品質の優れた建物や道路などを造ることが最も大切な仕事ですが、工事ごとにコスト管理をしっかりと行い、一定の利益を上げなければ会社が存続していく事はできません。建設業に特化した会計知識は建設業経営に不可欠なものであり、このための資格が「建設業経理士」です。



●高校生が「建設業経理事務士」を取得するとジュニアマイスター顕彰制度の得点（4級1点、3級4点）が得られます。

ジュニアマイスター顕彰制度とは

工業高校の生徒の意欲や技術・技能向上を目的とし、資格取得や競技大会の成果等に点数をつけ、その合計点で「(公社)全国工業高等学校校長協会」が表彰する制度です。

●「建設業経理士」が所属している企業は、公共工事を受注しようとする場合に必要な経営事項審査において加点されます。

経営事項審査とは

公共工事を発注者から直接請け負おうとする建設企業が必須で受ける審査です。この審査によって、「経営状況」「経営規模」「技術力」「その他の審査項目」について数値化し、各公共発注機関が評価しています。



建設業の仕事の流れが学べます！

建設業は、他の製造業とは異なり、注文を受けた後にモノを造ります。（これを「請負」といいます。）請負は、モノが出来る前に販売価格が決まっています。そのため、工事に発生するお金やモノ（材料等）の動きを管理しながら会社としての利益を同時に生み出すようにしていく必要があり、その特徴を理解して実践するために、この資格が設けられています。

合格者数（令和3年1月31日現在）

4級	3級	2級	1級	計
試験：45,013人 (合格率78.9%)	試験：189,820人 (合格率64.3%)	321,533人	27,510人	840,696人
特研：166,103人 (合格率97.5%)	特研：90,717人 (合格率92.4%)			

※合格者数は累積、合格率は直近1年間になります。

資格を取得するには2つの方法があります



方法1 自分で学習する

全国の都道府県で開催する「検定試験」に合格する！
(検定試験は、1級・2級は年2回、3級・4級は年1回の実施)

方法2 特別研修に参加する ※特別研修は3級・4級のみ実施

学校単位で開催する「特別研修」に皆で参加し集中学習、最終日に行う「検定試験」に合格する！

詳しくは
裏面参照



高校限定 学校単位の申込による 検定試験と特別研修のご案内

仕訳
材料費×× / 現金××
現金×× / 資本金××



「特別価格」で受験・受講ができます！

検定試験

学校単位の申込は**受験料が半額に！**（学校単位での申込みであれば1名から受け付けます）

試験日	【令和4年度】		令和4年9月11日（日）	（1級・2級）
			令和5年3月12日（日）	（1級・2級・3級・4級）
受験料	1級1科目	通常	7,800円	➡ 3,900円
	1級2科目	通常	11,100円	➡ 5,550円
	1級3科目	通常	14,400円	➡ 7,200円
	2級	通常	6,800円	➡ 3,400円
	2級・3級	通常	12,300円	➡ 6,150円
	3級	通常	5,500円	➡ 2,750円
	3級・4級	通常	9,900円	➡ 4,950円
	4級	通常	4,400円	➡ 2,200円
受験地	全国47都道府県主要都市			

特別研修（講習と検定試験をセットで実施）

4級と3級の特別研修は学校に講師が講義にまいります！集中学習で**合格率もUP！**

研修日数	4級：連続した2日間 3級：連続した3日間 （時間帯 9:00～12:00、13:00～16:30） ※ 研修時間は開始時間の前後等対応可能です。
受講料	【4級】 8,000円 （通常23,100円） 【3級】 12,000円 （通常34,650円） 高校生を対象として就職に役立つ資格取得を支援するための特別価格です
研修会場	各学校の教室等 催行可能な人数については、お問合せください。

【お問合せ先】 一般財団法人建設業振興基金 経理研究・試験担当
TEL 03-5473-4581（土日・祝除く 9:00～12:00、13:00～17:30）
E-mail gy2@kensetsu-kikin.or.jp

建設業経理検定 WEB <https://www.keiri-kentei.jp/>

建設業経理検定

検索

3/16
受付開始

教員免許更新制における免許状更新講習に対応！

令和4年度 実務施工体験研修

—建設業界でのキャリア教育に活かす職業体験活動—

概要 「ものづくりは人づくりから。」教育の最前線でキャリア教育や専門教育等に携わる教諭が、職業訓練施設において建設工事の実務を体験する**3日間のプログラム**。建設現場における工程と作業を体験するとともに、行政機関、学識経験者、職業訓練に携わる教官及び建設企業の実務者との交流、建設産業の魅力や現状と課題を把握することにより、今後の教育活動や進路指導に有用となる体験を提供する。

開設者 一般財団法人 建設業振興基金
各地主催 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会富士教育訓練センター
 職業訓練法人 近畿建設技能研修協会三田建設技能研修センター
 一般社団法人 福岡県建設専門工事業団体連合会
募集人数 各会場 20名 (先着受付順/最少開催人数5名)
対象者 教諭



鉄筋組立完了(兵庫)

	静岡県	兵庫県	福岡県
日程	8月8日(月)～10日(水)	8月3日(水)～5日(金)	7月27日(水)～29日(金)
研修期間	2泊3日(合宿形式)	3日間(通学形式)	3日間(通学形式)
会場	富士教育訓練センター	三田建設技能研修センター	福岡県中小企業振興センター
会場住所	静岡県富士宮市根原492-8	兵庫県三田市武庫が丘6-1	福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15
集合日時(予定)	8月8日(月)10:20	8月3日(水)10:30	7月27日(水)10:00
集合場所	東海道新幹線「新富士」駅改札前 (集合後、バス移動50分) ・東京～新富士(新幹線) 約60分 ・名古屋～新富士(新幹線) 約90分	三田建設技能研修センター (神戸電鉄公園都市線「フラワータウン」駅徒歩13分) ・岡山～新神戸(新幹線) 約30分 ・名古屋～新神戸(新幹線) 約60分 ・新神戸～フラワータウン 約40分	福岡県中小企業振興センター (鹿児島本線「吉塚」駅徒歩1分) ・佐賀～吉塚 約40分 ・博多～吉塚 約3分
解散日時(予定)	8月10日(水)17:00	8月5日(金)16:30	7月29日(金)17:30
受講料	一人当たり 68,560円 開設者等による助成後 19,280円 (宿泊費/食費込み)	一人当たり 78,646円 開設者等による助成後 18,000円 (宿泊費/食費別途)	一人当たり 75,608円 開設者等による助成後 15,000円 (宿泊費/食費別途)

(予定) 講習プログラム	講習時間	科目	講習概要
	6時間	建設業総論	建設業の現状と課題、意見交換会
	12時間	実習	実習用キットを使用した施工体験等
	合計18時間	(※講習プログラムは会場により多少異なります)	



吊り体験(兵庫)



鉄筋組立(静岡)



フォークリフト操作(福岡)



エンボ操作(兵庫)

【申込み方法】

- 裏面の受講申込書に必要事項を記入の上、下記問い合わせ先までメールまたはFAXをお願い致します。
- 受付後、「申込受付完了」のメールをお送り致します。
- 申込締切の6月15日(水)以降に「請求書」及び「実施案内」をメール致します。指定期日までにお振込みをお願い致します。
- 「実施案内」に記載の集合時間・集合場所・持参品・その他注意事項を必ずご確認ください。

「この研修を選んだ理由は何ですか？」

受講者に聞いてみました！

- ・現在の職場で経験できない内容で興味を持ったため。(支援学校教諭)
- ・今後の進路指導に役立てたいため。(中学校教諭)
- ・唯一の建設関係の研修だったため。(商業科教諭)
- ・以前参加して充実した体験だったため。(工業科教諭)
- ・実際の現場の様子を知りたいため。(工業科教諭)
- ・複数の受講生で協力して達成感を得られそうなので。(総合高校教諭)

申込窓口：一般財団法人 建設業振興基金

〒105-0001

東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館6階

TEL 03(5473)4572 / FAX 03(5473)4594

Email jinzai@kensetsu-kikin.or.jp

URL <https://www.kensetsu-kikin.or.jp>

過去の講習の内容について



平成29年度から開催している実務施工体験研修の過去の講習の内容は、WEBサイト「建設現場へGO!」よりご確認ください。



コチラから
アクセスが
できます

<https://genba-go.jp/>

令和4年度実務施工体験研修 受講申込書

※全ての項目に漏れなくご記入ください。

申込コース名		実務施工体験研修		
日程 <small>該当のコースに ○印を付けてく ださい。</small>		静岡県	富士教育訓練センター	令和4年8月8日(月)~10日(水)
		兵庫県	三田建設技能研修センター	令和4年8月3日(水)~5日(金)
		福岡県	(座学) 福岡県中小企業振興センター (実習) 玉山鋼材株式会社	令和4年7月27日(水)~29日(金)

受講者		所属学校	
ふりがな		ふりがな	
氏名		学校名	
免許状更新の有無	有 ・ 無 <small>※該当する方に○を付けてください。</small>	学科名	
生年月日	(西暦) 年 月 日	メールアドレス	
性別	男 ・ 女		
自宅住所	〒	学校住所	〒
	携帯		
	TEL		TEL
	FAX		FAX

【申し込み注意事項】

申込期間：令和4年3月16日(水)~令和4年6月15日(水) (全会場共通)

入金期日：申込期間終了後にお送りする請求書に記載しています。

返金期日：令和4年6月30日(木) 17:30 までにキャンセルの連絡があった場合は事務手数料を差し引いた金額を返金致します。以降の返金は致しかねます。

申込締切：先着順受付となっておりますので、定員20名に達した場合には、申込期間中であっても申し込みを締め切らせていただきます。

その他：各コースとも最少開催人数を5名とさせていただきます。5名未満となったコースについては、開催取り止めとなりますので予めご了承ください。

上記の通り、受講を申し込み致します。

令和 年 月 日

(一財)建設業振興基金 人材育成支援課 行

学校名 _____ 氏名 _____

<送信先>

(一財)建設業振興基金

Email: jinzai@kensetsu-kikin.or.jp / FAX: 03 (5473) 4594

※必要事項をご記入の上、上記の送信先にメールまたはFAXを送信して下さい。

※いただいた個人情報は、建設業振興基金及び建設産業人材確保・育成推進協議会で管理し、承諾無く第三者に提供致しません。

人材協定期便はメールでの受け取りが可能です！

年三回お届け予定
(各学期)



人材協定期便



情報共有が容易に！

人材協定期便のメール受け取りをご希望される方は、下記項目をメールにてご送信下さい。

- ✓ 学校名
- ✓ メールアドレス
※組織の代表アドレスをご記載下さい※
(例：“進路指導室”< . . . @.co.jp >)
- ✓ 担当者名
- ✓ 電話番号

送信先メールアドレス

jinzai@kensetsu-kikin.or.jp